

構造設計特記仕様

(6) 屋根、床、壁		材 種		空 気	厚	その他	仕 装 箇 所	仕 装 ・ 機 法	
ALC	(JIS A 5416)					珪	☐ 壁	☐ 床版	☐ スライド ☐ ボルト法 ☐ ロッキング
折 板				H=	厚 ¹⁾ t		☐ 床版 ☐ 止		
特殊デックシースト	(JIS G 3352)			型式	厚		☐ 床版 ☐	☐	
デックシースト	(JIS G 3352)						☐ 床版 ☐ 床版		
キーストシースト	(JIS G 3352)			型式	厚		☐ 床版 ☐		

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）

scale 1:200

The diagram is a vertical borehole log. The left side has a depth scale from 0 to 29 meters. The right side has a scale of 1:200. The log shows soil layers: 砂 (sand) from 0 to 1.5m, 砂質シルト (sandy silt) from 1.5 to 2.5m, and シルト (silt) from 2.5 to 29m. SPT values (N60) are plotted along the log. A cross-section of the borehole is shown on the right, with a diameter of 1,350mm and a depth of 8,700mm. The text '標準貫入試験' (Standard Penetration Test) is written vertically along the log.

深度 (m)	土質	N60
0.0	砂	10
0.5	砂	15
1.0	砂	20
1.5	砂質シルト	25
2.0	砂質シルト	30
2.5	シルト	35
3.0	シルト	40
3.5	シルト	45
4.0	シルト	50
4.5	シルト	55
5.0	シルト	60
5.5	シルト	65
6.0	シルト	70
6.5	シルト	75
7.0	シルト	80
7.5	シルト	85
8.0	シルト	90
8.5	シルト	95
9.0	シルト	100
9.5	シルト	105
10.0	シルト	110
10.5	シルト	115
11.0	シルト	120
11.5	シルト	125
12.0	シルト	130
12.5	シルト	135
13.0	シルト	140
13.5	シルト	145
14.0	シルト	150
14.5	シルト	155
15.0	シルト	160
15.5	シルト	165
16.0	シルト	170
16.5	シルト	175
17.0	シルト	180
17.5	シルト	185
18.0	シルト	190
18.5	シルト	195
19.0	シルト	200
19.5	シルト	205
20.0	シルト	210
20.5	シルト	215
21.0	シルト	220
21.5	シルト	225
22.0	シルト	230
22.5	シルト	235
23.0	シルト	240
23.5	シルト	245
24.0	シルト	250
24.5	シルト	255
25.0	シルト	260
25.5	シルト	265
26.0	シルト	270
26.5	シルト	275
27.0	シルト	280
27.5	シルト	285
28.0	シルト	290
28.5	シルト	295
29.0	シルト	300

(1) 直接基礎

☐ ベタ基礎 ☒ 布基礎 ☒ 独立基礎 試験図 ☐ 有 ☐ 無

基礎底 G.L. - 1.35m 支持層=

長期許容支持力度 2.94 kN/m² (地盤改良コラム)

(2) 杭仕様 支持層=

機	材	施工法	備考
☒ PCP ☒ PPC ☐ PHC ☐ 鋼管 ☐ 摩擦杭	PRC (□ Ⅱ 種) □V 種 PRC (△ Ⅲ 種) □G 種 鋼材 JIS S45C □S50C	☐ 打ち込み ☐ 振込 (メメントロルク工法)	
☐ 鋼管打込 ☐ コンクリート杭	外径 φ = mm スパイラル セグメント 長さ m kg/m 重量 非標準	☐ ホールディング ☐ 鉄筋杭 ☐ リバースローテーション ☐ コンクリートポンプ車による注ぎ	新築品 日本建築センター登録 年 月 日
HOOF SD			☐ 引張 □ 牙根 □ 手掘り ☐ 口挿杭 □ 口挿杭

■型枠存置期間

コンクリートの 状態	環境温度 (℃)	基礎、はり部、柱、壁		スラブ、はり下		スラブ		支 柱	
		普通コン ランドセメント A種 シリカセメント A種	早強フルト ランドセメント A種 シリカセメント A種	普通フルト ランドセメント A種 シリカセメント A種	早強フルト ランドセメント A種 シリカセメント A種	普通フルト ランドセメント A種 シリカセメント A種	早強フルト ランドセメント A種 シリカセメント A種		
コン クリ ート の 硬 化 中	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28	
	10℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28	
コン クリ ート の 固 化 後	5℃未満	3	5	6	10	16	15	28	28
	5.0ℓ/m ³ 以下								
コンクリートの 強度		設計基準強度の50%						設計基準強度の	
								85%	100%

注) 1) 内括弧は、直上・直下3.0m以上の地質は、主要な地盤の種類による。
2) はり部の支持が充分と見えないとき、その地質上の埋設品を調査しとてむねない。
3) 4) 天板の養生材又は、必ずしも直下のコンクリート面とせずとする。
5) 4) の天板の養生材料には、薄い紙類、布等でもよく、これに代わるものも可。
6) 天板の養生材は、十分に乾燥してある。スラブ等へ、同一位置の養生物を戻しつつ、覆りかえしてもよい。
7) 天板の養生材は、養生中のコンクリート表面を傷めないでよく、かつ養生材の破損や欠落を防ぐことにより、養生中のコンクリート表面を保護するものである。
8) 天板の養生材は、養生中のコンクリート表面を傷めないでよく、かつ養生材の破損や欠落を防ぐことにより、養生中のコンクリート表面を保護するものである。

- 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構法を採用し、最も効果的なものとする。
- 建築設備の支持構造等および緊結金物は、錆止め等、防蝕のための有効な措置を講ずること。
- 建築物に設ける屋上から突出する水栓・煙突・その他これらに類するものは、風・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- 地震は、断層に対するコンクリートの最小厚さを5mm以上とした鉄筋コンクリート構造とする。
- 設備配置は、地震時等の建築物形態に追従できること。また、地震力等に対して適切に支持されいること。
- 設備機器の集合および基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されていくこと。
- 特設以上の受取装置は原則として設けない。
- 最大入力時に設備機器を駆動可能な受取装置は、受取装置の3/3以上と水管の間隔を管径の1/2以上5cm以上とする。
- 地震発生直後、かつ地震発生直に地震時の水漏れ及び断層割れに対して安全な構造とならない構造物とする。湧水等の質水量が15kgを超過する給排水設備については、地震に耐えし上支障のない構造として、平成12年告示第1388号等により規定する構法方式とする。

■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
※図面及び特記に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年）」による。

設計年月日 令和8年7月7日	縮尺 —	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-01
担当	承認	図面名称 構造設計特仕様	

Wood Space
木空間 一級建築士事務所

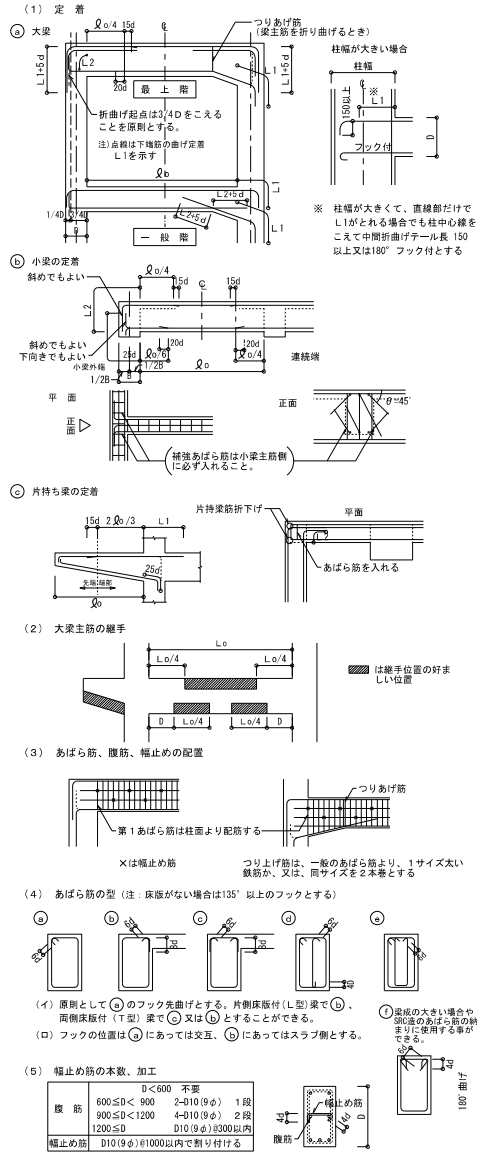
〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡5181 TEL：0993-58-7272 FAX：0993-78-3388
事務所登録：鹿児島県知事（第1-7-125） 管理建築士：一級建築士登録（第231904号） 射手園 武也

L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

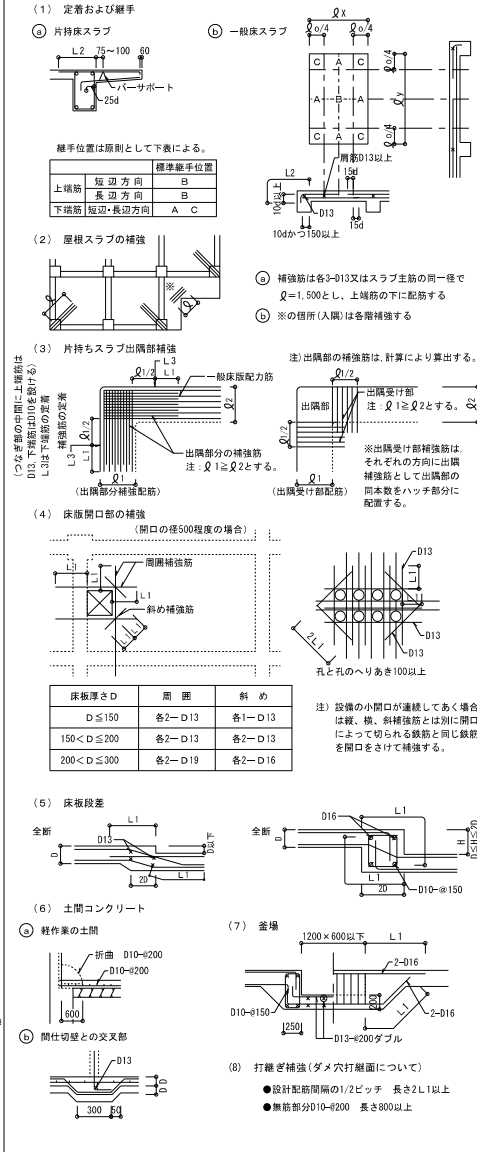
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

構造詳細図該当項目

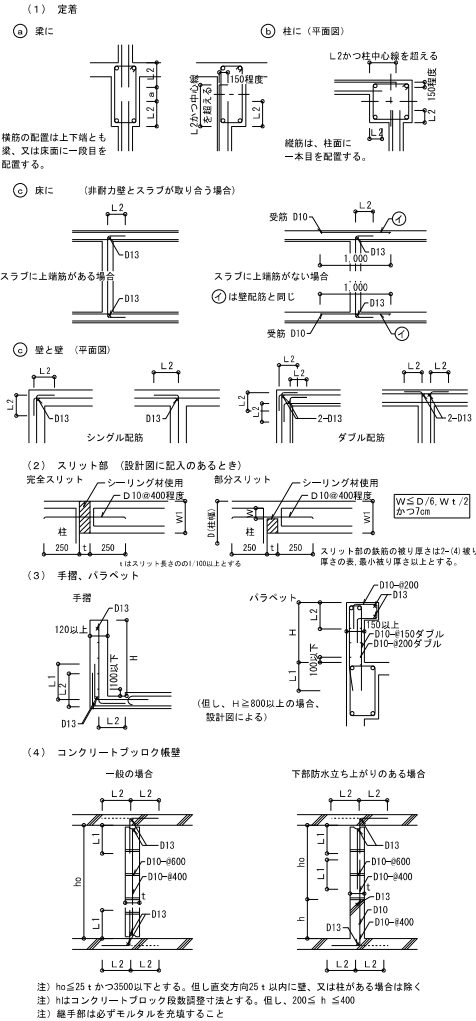
7. 大梁、小梁、片持梁



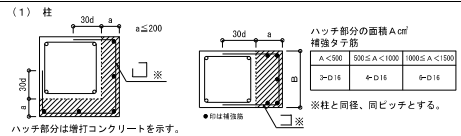
8. 床版



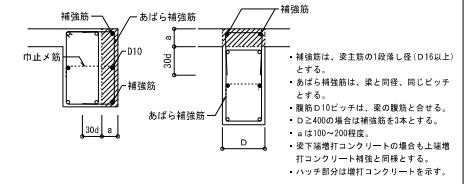
9. 壁



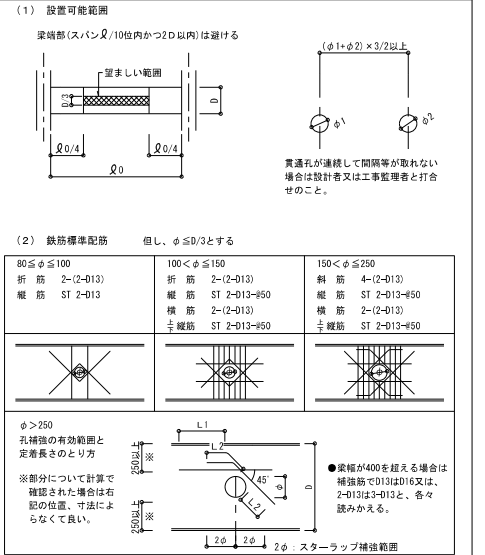
10. 柱、梁増打コンクリート補強



(2) 梁



11. 梁貫通孔補強



(3) 既製品(使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

ウェレレン、ダイヤレン 等 日本建築センター 評価取得品とする。

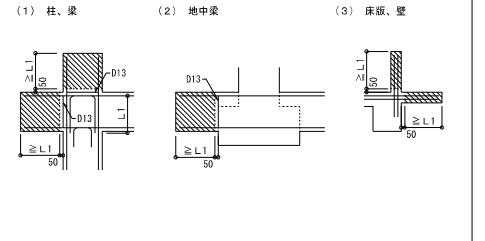
施工前に計画書を提出し、承認を得ること。

施工前に使用する評価取得品については計算書を提出する事。

□ リング型 □ バイ型 □ 金網型 □ プレート型

12. 増築予定

(将来増築予定のコンクリート増打ち部分は、増築時の鉄筋継手工法を考慮して措置する)



構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

Wood Space
木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL: 0993-58-7272 FAX: 0993-78-3388
事務所登録: 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士: 一級建築士登録(第231904号) 射手 園 武也

設計年月日	縮尺	工事名称	図面番号
令和8年7月7日	-	(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	S-03
担当	承認	図面名称	
		鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	

鉄骨構造標準図(1)

構造詳細図該当項目

発注 社団法人 東京都建築士事務所協会 監修 東京都建築構造造技連協会 平成12年11月

1. 一般事項

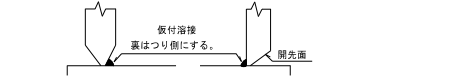
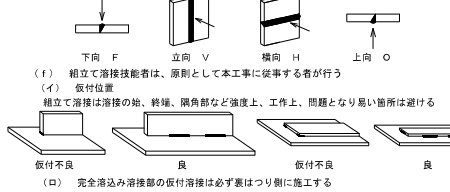
- (1) 材料及び検査
(a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、制度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼骨部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼骨自動切断機による
(c) 高強度力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本様式に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
(b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラスト、ブリティブラストによる処理で表面赤さが、50μm以下である場合は、赤さは発生しないままでよい。
(c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。

(4) 溶接接合

- (a) 平成12年建設省告示第146号第二号イ、ロによる、溶接の性能、溶接金属の性能を満足すること。
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする。
(c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A-500A (ニ) 炭素ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機（直流） (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
(d) 溶接方法
アーク手溶接（MC） ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
セルブ（パワース）シールドアーク半自動溶接（NGC） アークエアーガウジング（AAG）
(e) 溶接姿勢



(g) 溶接施工

- (イ) エンドタブ
1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端面に母材と同厚で同形状のエンドタブを取り付ける
2) エンドタブの材質は、母材と同質とする
3) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上、NGC・GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
4) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる。
- (ハ) スクラップ半厚は30°~35mmと10mmのダブルアルとする
但し裏あてがφ=150mm未満の場合の (ニ) ノンスクラップ工法
スクラップはr=20mmとする



- (ホ) 裏はつり
標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
(ハ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防熱材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう

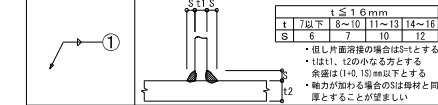
(5) 塗装

- コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

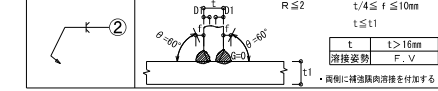
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: 1/4間隔 R: 1/2 S: 鋼板 (単位:mm)

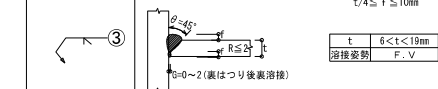
(1) 隅肉溶接



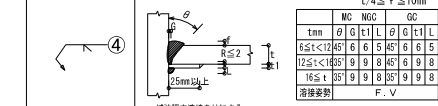
(2) 部分溶け込み溶接



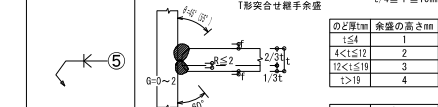
(3) 完全溶込み溶接



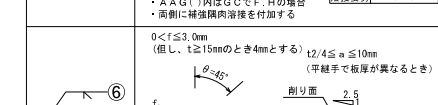
(4) 完全溶込み溶接



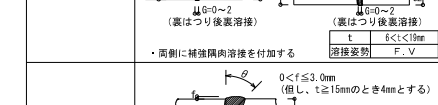
(5) 完全溶込み溶接



(6) 完全溶込み溶接



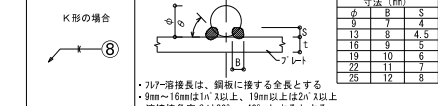
(7) 完全溶込み溶接



(8) フレア溶接



(9) フレア溶接

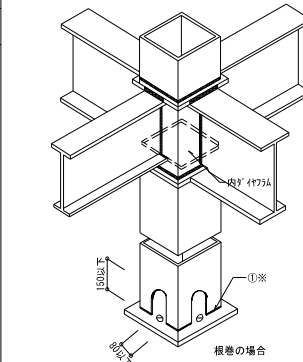


(10) フレア溶接



- ・溶接記号番号を○に記入のこと

- ・B×X型（通しダイヤフラムの場合）

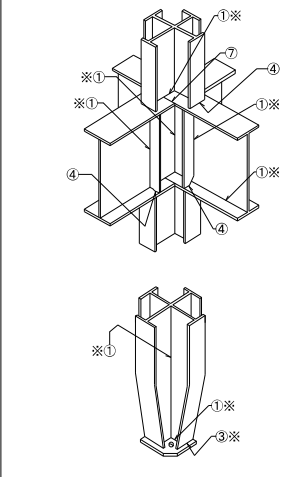


- ①※ t > 16mmの場合の溶接は、②又は③~⑤とする。

鋼材種別による溶接条件

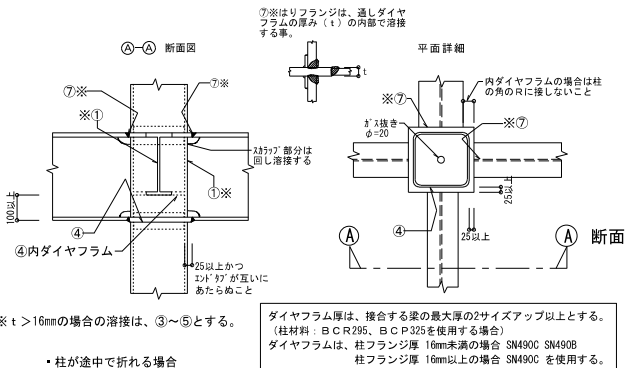
鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	JIS Z 3312 Y GW-11, 15		
	Y GW-18, 19		
	JIS Z 3315 Y GA-50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	JIS Z 3312 Y GW-11, 15		
	Y GW-18, 19		
	JIS Z 3315 Y GA-50W, 50P		

十、ト、H型

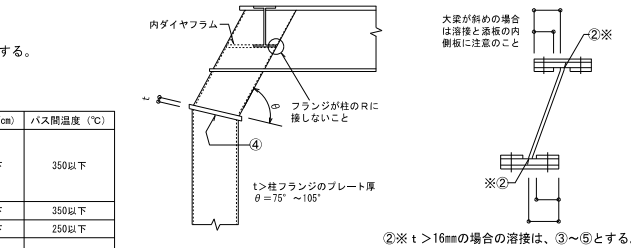


- ①※ t > 16mmの場合の溶接は、②又は③~⑤とする。

- ③※ t ≥ 19mmの場合の溶接は、設計者に確認する事。



- ・柱が途中で折れる場合
及乗成が異なる場合



- ②※ t > 16mmの場合の溶接は、③~⑤とする。

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

Wood Space
木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知賀町都5181 TEL: 0993-58-7272 FAX: 0993-78-3388
事務所登録: 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士: 一級建築士登録(第21304号) 射手岡 武也

設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 —	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-04
担当	承認	図面名称 鉄骨構造標準図(1)	

深層混合処理工法 特記仕様書

(炎工法 GBRC建築技術性能証明 第22-40号 改1)

1. 工法概要

本工事は、深層混合処理工法（炎工法）による地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

本工事は、本工法設計指針及び本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（一般社団法人 日本建築センター）による。

3. 特記事項

- (1) コラム径、掘削深度（改良長＋空堀長）、本数配置などは設計図書による。但し、コラム径・長さ・本数・位置及び配合などについて土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の上、変更することができる。
- (2) コラムの設計基準強度はFc=1100 kN/m² とする。
- (3) 本工事は炎工法協会が認める指定施工会社が行う。（株式会社 菊永建設）

4. 施工計画

- (1) 本工事の施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとする。
- (2) 工事に先立ち、施工計画を行う。
施工計画書を作成する場合は、次の事項を明記する。
- ①工事名称及び工事場所
 - ②コラム仕様及び数量
 - ③工事期間及び工程
 - ④本工事の組織（コラム施工業者及び責任者）
 - ⑤施工手順
 - ⑥施工機械
 - ⑦施工管理方法及び品質管理方法
 - ⑧安全衛生対策

5. 施工機械

- (1) 供回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に混合攪拌できる攪拌装置を用いること。
- (2) 所定の施工管理項目を測定し、記録できる管理装置を用いること。
- (3) ミキシングプラント及びスラリー圧送ポンプは所定の吐出量を十分に供給できるものとする。

6. 施工

- (1) 施工機械が傾斜、転倒しないように作業地盤の養生を行う。
- (2) 基本的な施工手順を以下に示す。
- a. 攪拌装置をコラム芯に合わせる。
 - b. スラリーを吐出しながら掘進する。（スラリー吐出は掘進時のみ）
 - c. 設計深度に到達を確認した後、スラリーの吐出を停止し、先端部の練り返しを行う。
 - d. 攪拌軸を反転させ引き上げ、混合攪拌を行う。
※掘進・引き上げ速度及び攪拌回数は、本工法規定を厳守する。
- (3) 貫入障害などが生じた場合は、監督員と協議する。
- (4) 本工事による発生残土は場内処分とする。

7. 配合管理

- (1) 使用する固化材は、セメント系固化材とする。
- (2) 配合強度
合格率80%とする場合、αtは下表による。

採取ヶ所数N	1	2	3	4～6	7～8	9～
変動係数Vc 25%(砂質土・粘性土)	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

Xf=αt・Fc （Xf：配合強度、Fc：設計基準強度）

- (3) 室内配合試験
本工事において使用する固化材添加量、水セメント比(W/C)は、室内配合試験結果に基づいて、現場/室内強度比を考慮した上で、設計基準強度を満足するように設定する。
- (4) 固化材液の配合
六価クロム対応品使用（六価クロム溶出試験により確認）
事前に室内配合試験を実施して確認決定する。

8. 施工管理

- (1) 施工の安定性を確保するため、次に示す項目を管理する。
- | | | |
|--------|--------------------------------|--|
| ①形状・寸法 | 攪拌装置寸法
コラム芯
掘削深度
材料計量 | 攪拌翼径をスケールなどで計測する。
事前にコラム芯にマークを設ける。
深度計で計測する。
水・固化材の重量 |
| ②固化材 | スラリー比重 | マッドバランスで測定する。 |
| ③攪拌混合度 | 掘進・引上速度
攪拌装置 | 速度計で測定する。
掘削翼、攪拌翼の枚数など |
| ④支持地盤 | 深度・トルク値 | 深度計・トルク計で計測する。 |

9. 品質管理

- (1) コラム頭部及び深度方向のコアを採取して一軸圧縮試験を行い、コア本体の強度確認を行う。（検査手法Aを適用する。）
検査対象層は、（粘性土）であり 設計対象層を（粘性土）とする。
頭部・深部コア（供試体） 100コラムに1箇所以上
全長ボーリングコア 100コラムに1箇所以上（設計者・監督員と協議）
- (2) 合格判定は一軸圧縮強さの平均値XLと合格判定値XNの関係式であり、下式を満足すれば合格とする。

$$XN>XL=F_c+ka\cdot\sigma_d$$

$$\sigma_d=\frac{F_c\cdot V_d}{1-1.3V_d}$$

Ka：検査手法Aの合格判定係数（下表による）

σd：標準偏差

Vd：設計で想定する、一軸圧縮強度の変動係数

XN：採取コアの一軸圧縮強度の平均値

XL：合格判定値

検査手法Aの合格判定係数

コア採取箇所数N	1	2	3	4～6	7～8	9～
合格判定係数 ka	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

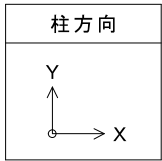
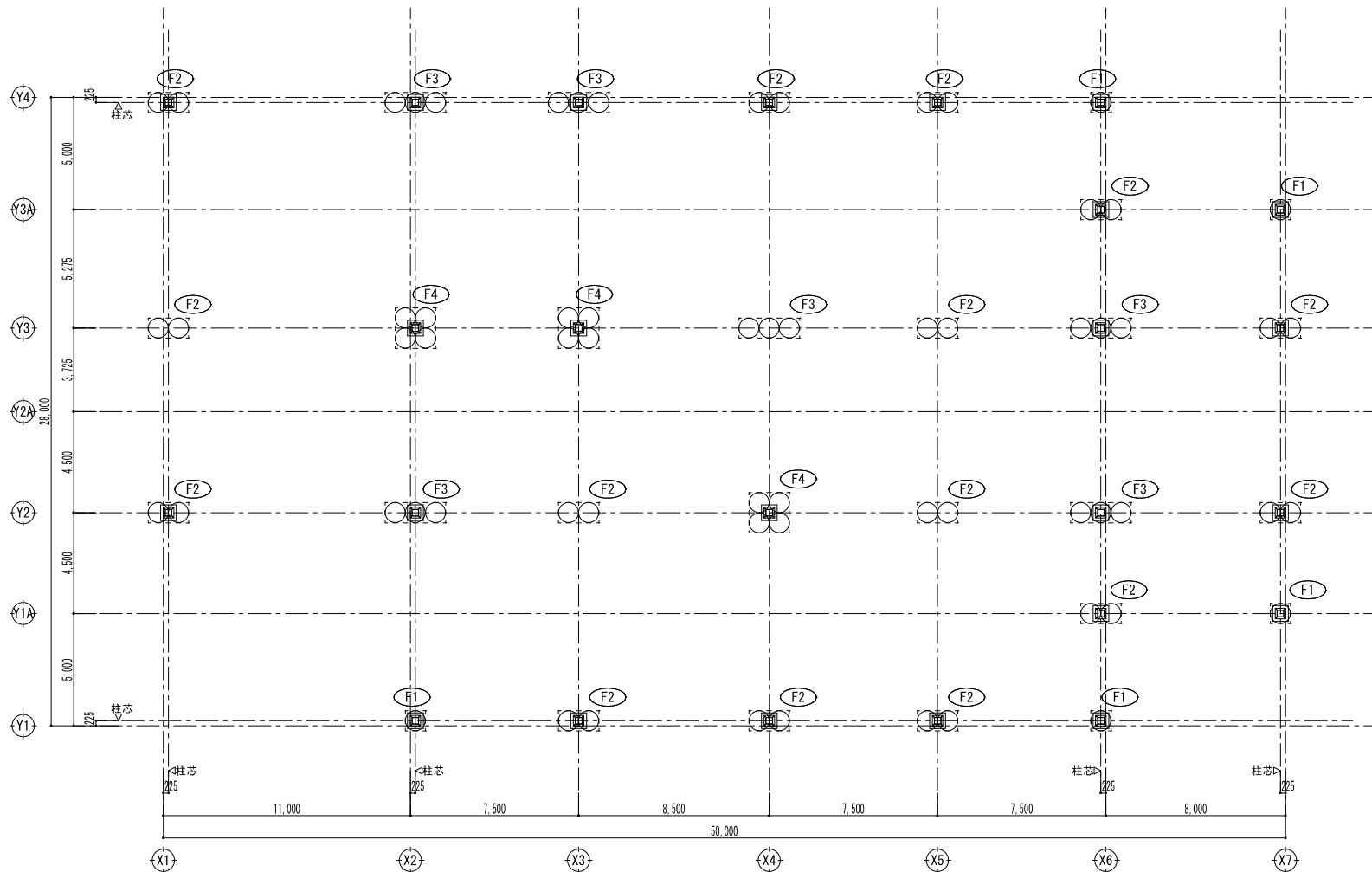
10. 報告

本工事施工後、次の事項について報告書をまとめ、監督員に提出する。

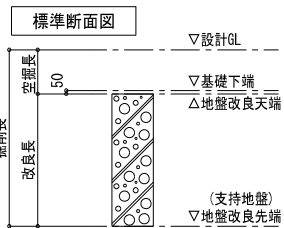
- ①コラム伏図及び番号
- ②コラム施工日、改良径、掘削深度、改良長、注入量
- ③固化材液の配合と固化材液の使用料
- ④コアの一軸圧縮試験結果、合否判定

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

訂正	・	・		 Wood SPace 木空間 一級建築士事務所 〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL：0993-58-7272 FAX：0993-78-3388 事務所登録：鹿児島県知事（第1-7-125） 管理建築士：一級建築士登録（第231904号） 射手園 武也	設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 —	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-06
	・	・			担当	承認	図面名称 深層混合処理工法 特記仕様書	
	・	・						
	・	・						



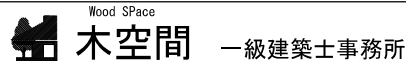
コラム仕様		深層混合処理工法(炎工法)	
長期設計支持力	kN/m ²	294	
設計基準強度	kN/m ²	1,100	
改良径	mm	900	
掘削長 (設計GLより)	空堀長 (設計GLより)	改良長	本数
8.7m	1.4m	7.35	63



地盤改良伏図 S=1:200

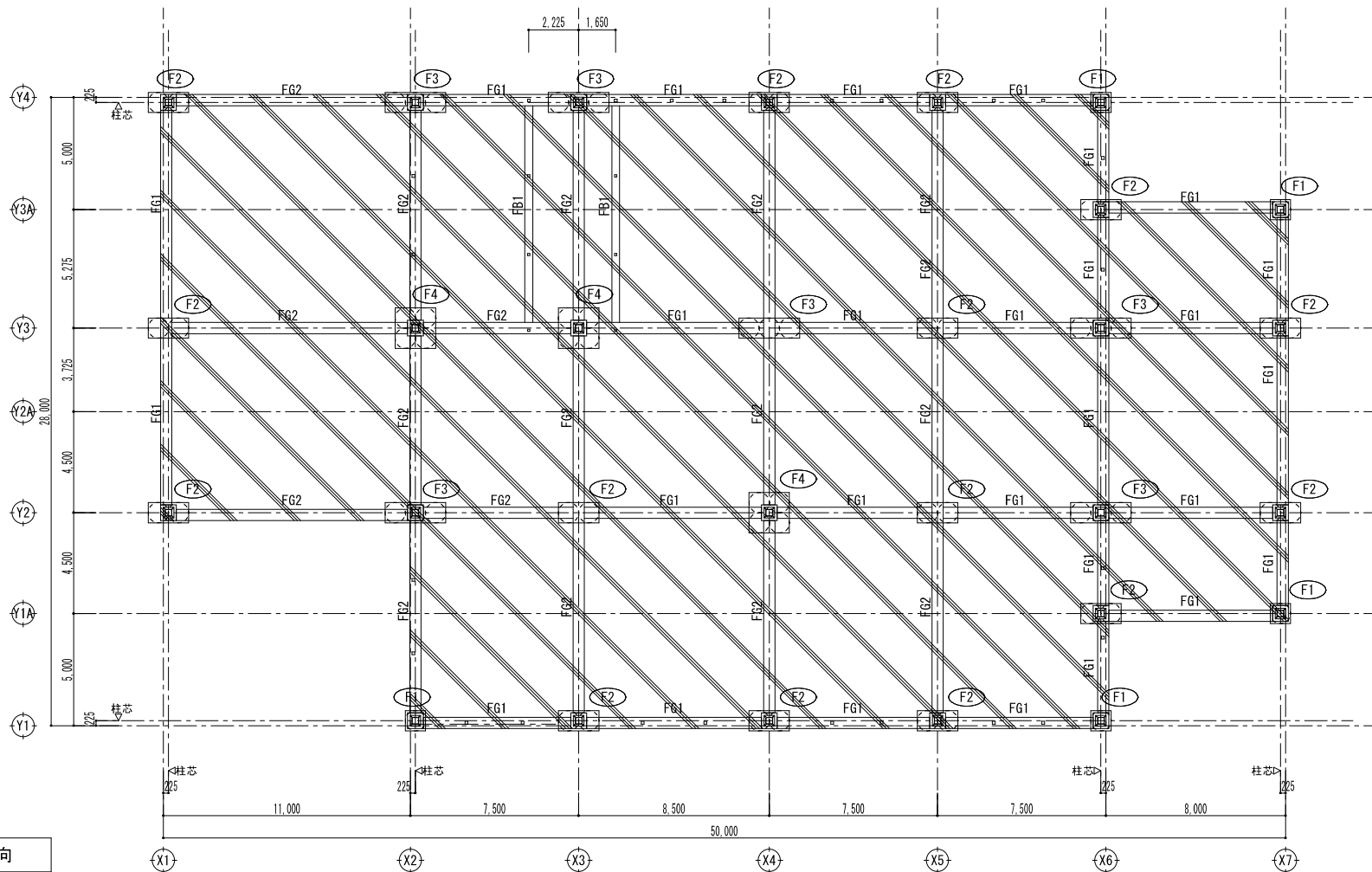
- (特記事項)
- ・ 地中梁天端は 設計GL-400 とする
 - ・ 基礎下端レベルは 設計GL-1,350 とする
 - ・ 印は、土間コンクリート打ちを示す
- 詳細は意匠図参照の上施工図による

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 1/200	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-07
担当	承認	図面名称 地盤改良伏図	



基礎伏図 S=1:200

- (特記事項)
- ・ 地中梁天端は 設計GL-400 とする
 - ・ 基礎下端レベルは 設計GL-1,350 とする
 - ・ 印は、土間コンクリート打ちを示す
- 詳細は意匠図参照の上施工図による

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

訂正 変更	・	・	
	・	・	
	・	・	
	・	・	

Wood SPace

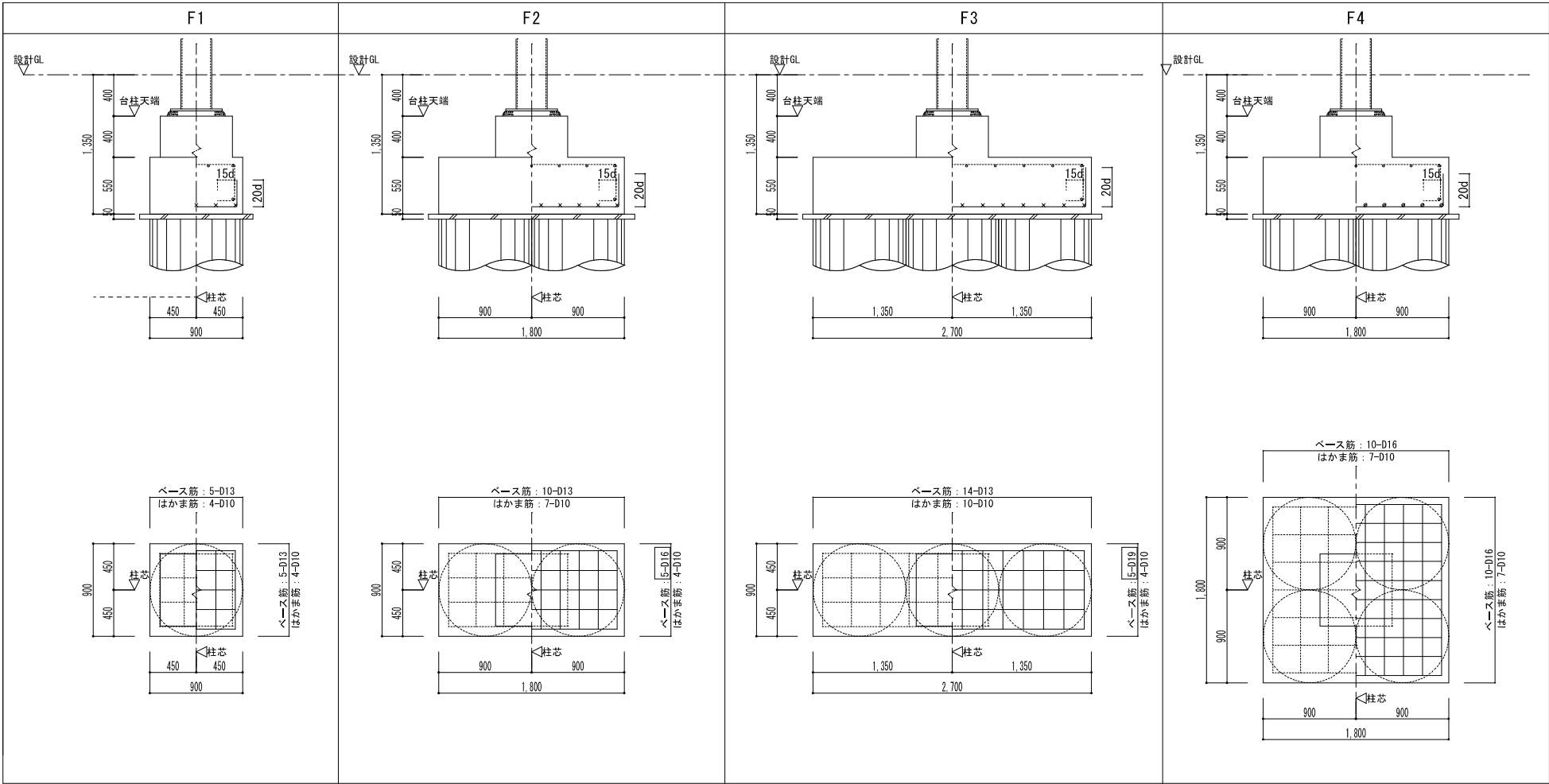
 **木空間** 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 1/200	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-08
担当	承認	図面名称 基礎伏図	

基礎リスト 1:40

(特記事項)



構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



Wood Space
木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日
令和 8 年 7 月 7 日
担当

縮尺
1/40
承認

工事名称
(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事
図面名称
基礎リスト(1)

図面番号
S-09

基礎梁リスト

1 : 30

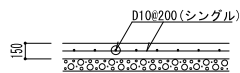
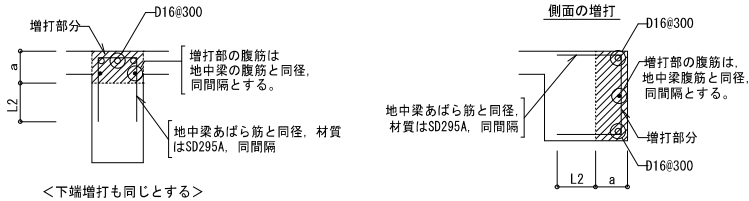
(特記事項)

・巾止め筋はD10@1000以下とする

符 号	FG1	FG2	FB1
位 置	全断面	全断面	全断面
設計GL			
断面			
B × D	500 × 850	500 × 850	350 × 850
上端筋	5-D22	5/2-D22	3-D19
下端筋	5-D22	5/2-D22	3-D19
S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D10@200
腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10

地中梁 増打コンクリート補強筋要領図

梁の増打補強配筋は下図により、増打幅 (a) が70mm以上の場合に適用する。



土間コンクリート配筋図 S=1/40

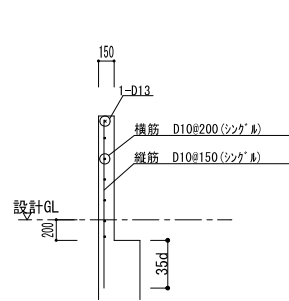
柱脚・台柱リスト

1 : 30

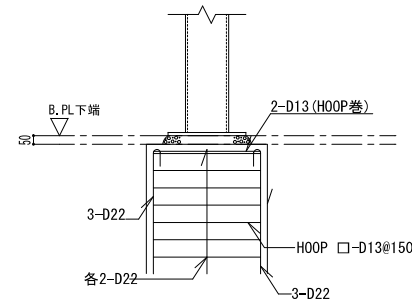
(特記事項)

特記なきベースプレートの鋼種はS N 4 9 0 Cとする
特記なきアンカーボルトの鋼種はA B R 4 9 0とする

符 号	C30	C30A
主 材	□ - 300 × 300 × 9	□ - 300 × 300 × 12
柱 脚		
ベースプレート	PL-32 × 470 × 470	PL-32 × 470 × 470
アンカーボルト	4-M27 (定着長 L= 540)	4-M27 (定着長 L= 540)
	(二重ナット締め) 定着板 (規格品90×90)	(二重ナット締め) 定着板 (規格品90×90)
台 柱		
主 筋	8-D22	8-D22
H O O P	D13@150	D13@150



腰壁配筋要領図



台柱配筋図

符 号	P12
主 材	□ - 125 × 125 × 9
断面	
ベースプレート	PL-19 × 325 × 175
アンカーボルト	2-M20 (定着長 L= 400)
	(二重ナット締め) 定着板 (規格品60×60)
台 柱	
主 筋	8-D22
H O O P	D13@150

符 号	P10
主 材	□ - 100 × 100 × 6
断面	
ベースプレート	PL-16 × 300 × 150
アンカーボルト	2-M20 (定着長 L= 400)
	(二重ナット締め) 定着板 (規格品60×60)
台 柱	
主 筋	8-D22
H O O P	D13@150

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設 計 年 月 日

令和 8 年 7 月 7 日

担 当

縮 尺

1/30

承 認

工 事 名 称

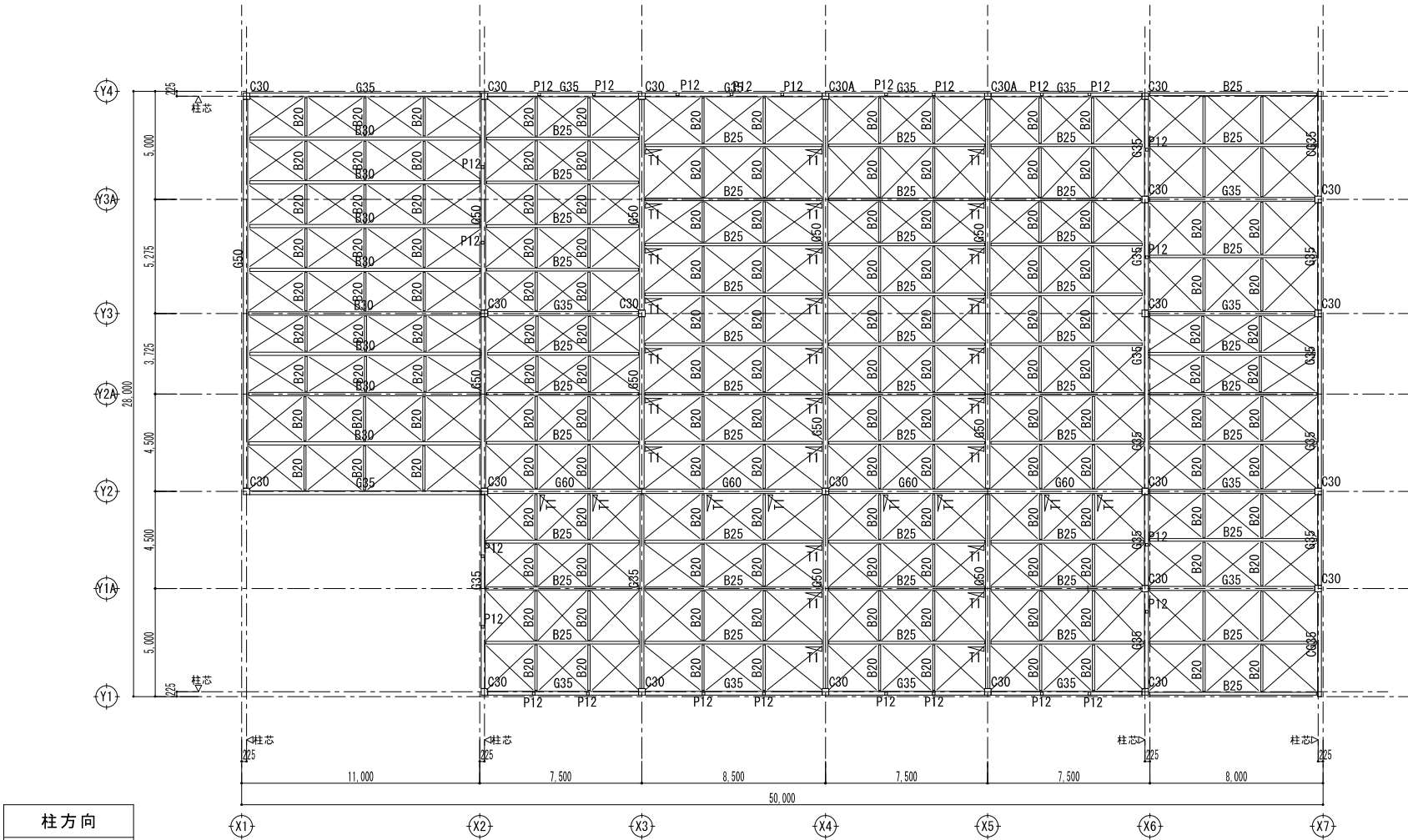
(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事

図 面 名 称

基礎リスト(2)

図面番号

S-10



R階梁床伏図 S=1:200 (見上げ図)

- (特記事項)
- ・特記なき屋根ブレースはHV16とする
 - ・印は折版方向を示す
 - ・小梁芯は意匠図参照の上施工図による
 - ・鉄骨継手位置は軸組図による

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



木空間 一級建築士事務所

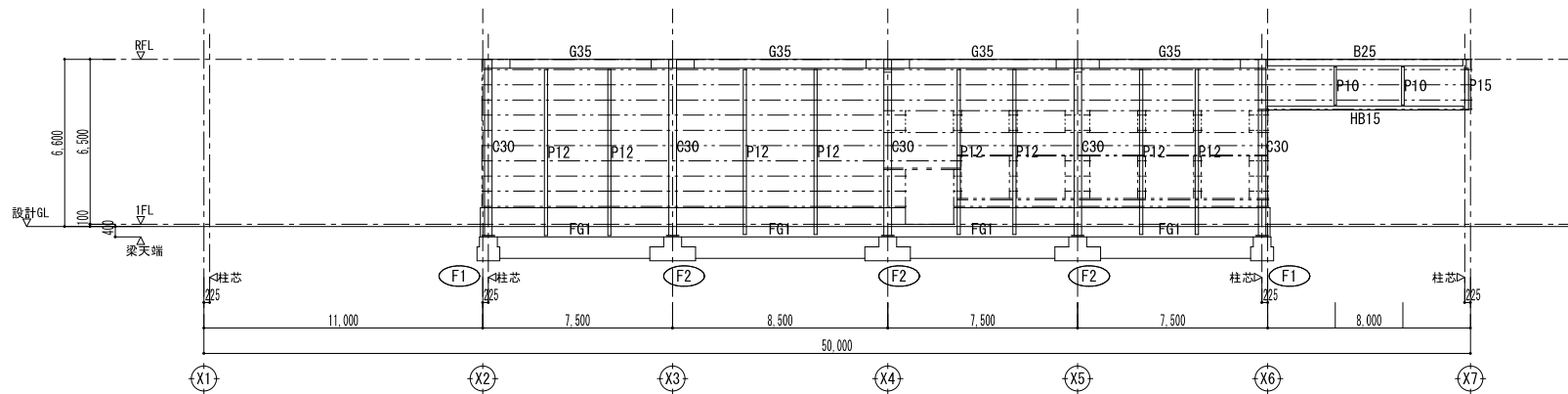
〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日
令和 8 年 7 月 7 日
担当

縮尺
1/200
承認

工事名称
(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事
図面名称
R階梁伏図

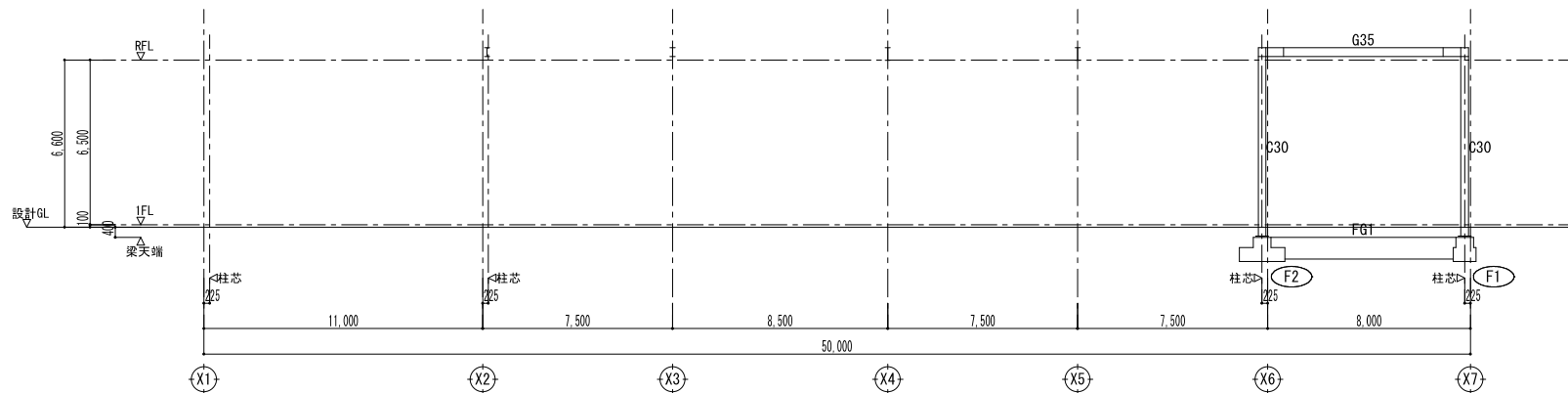
図面番号
S-11



Y1通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (----) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (- - - -) は、2C-100×50×20×2.3 を示す



Y1A通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (----) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (- - - -) は、2C-100×50×20×2.3 を示す

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日

令和 8 年 7 月 7 日

担当

縮尺

1/200

承認

工事名称

(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事

図面名称

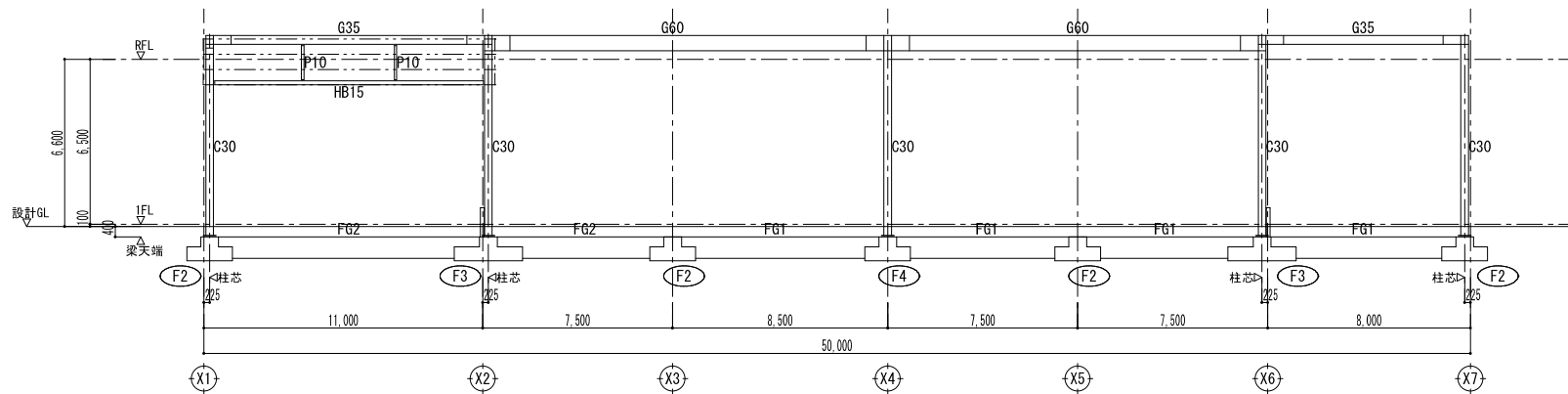
軸組図(1)

図面番号

S-13

訂正

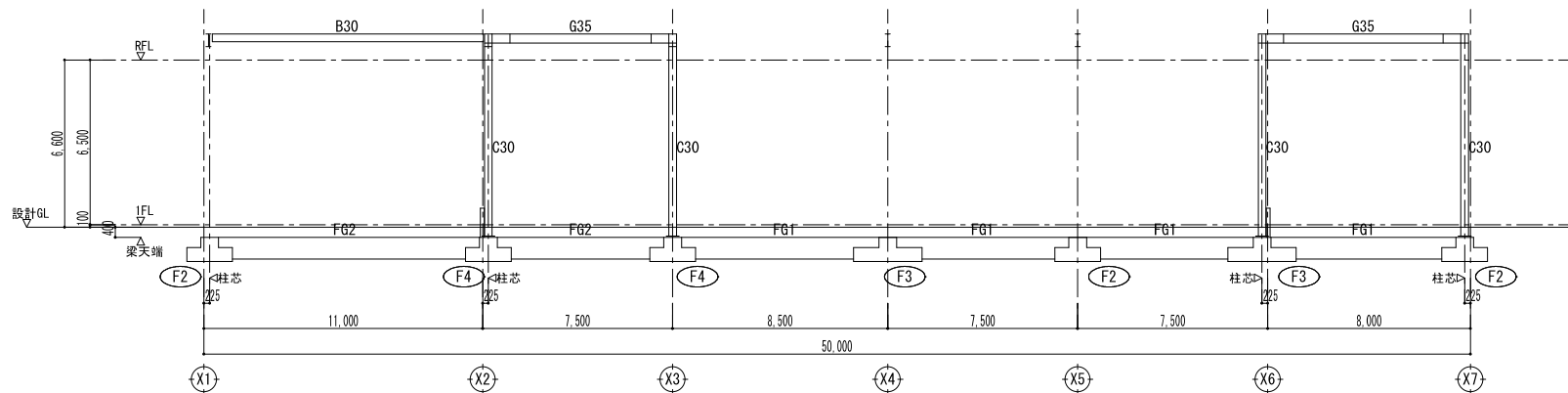
変更



Y2通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (----) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (----) は、2C-100×50×20×2.3 を示す



Y3通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (----) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (----) は、2C-100×50×20×2.3 を示す

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日

令和 8 年 7 月 7 日

担当

縮尺

1/200

承認

工事名称

(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事

図面名称

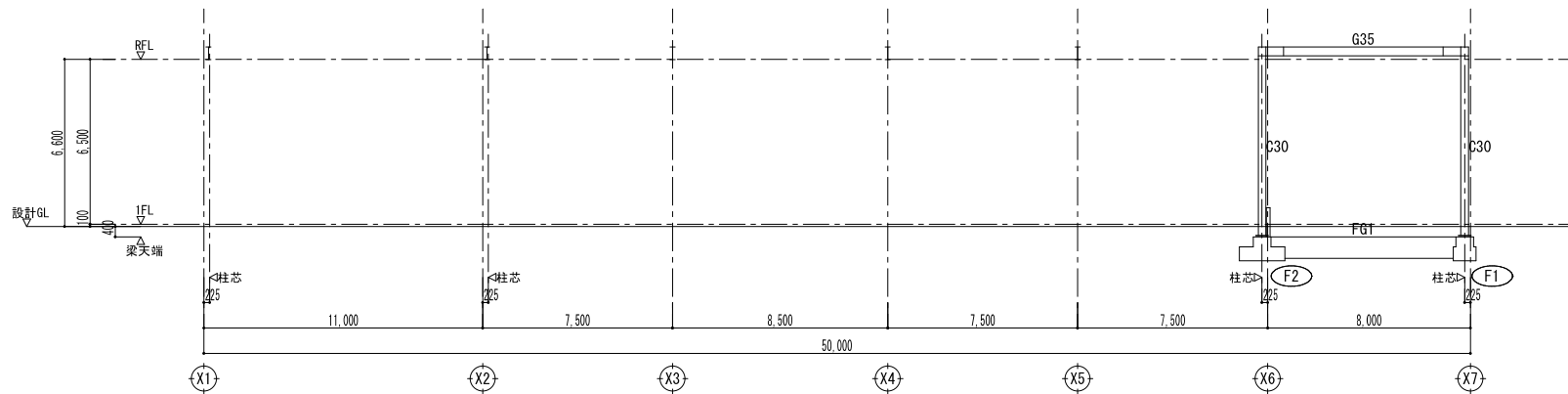
軸組図(2)

図面番号

S-14

訂正

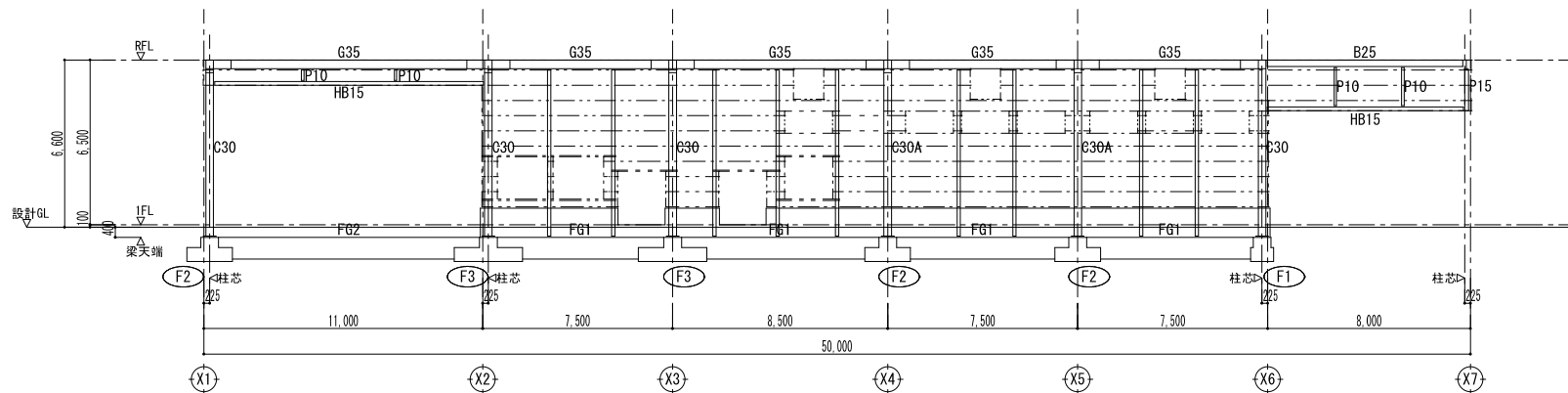
変更



Y3A通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (- - -) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (- - -) は、2C-100×50×20×2.3 を示す



Y4通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (- - -) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (- - -) は、2C-100×50×20×2.3 を示す

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸



Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388

事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日

令和 8 年 7 月 7 日

担当

縮尺

1/200

承認

工事名称

(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事

図面名称

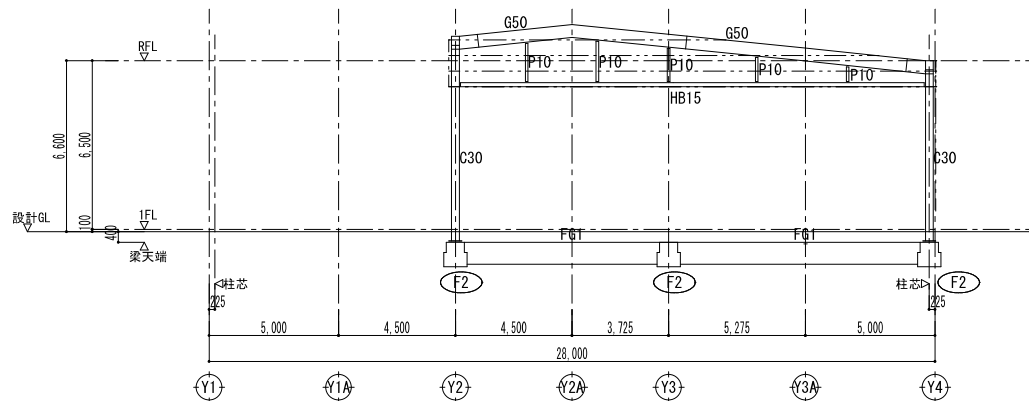
軸組図(3)

図面番号

S-15

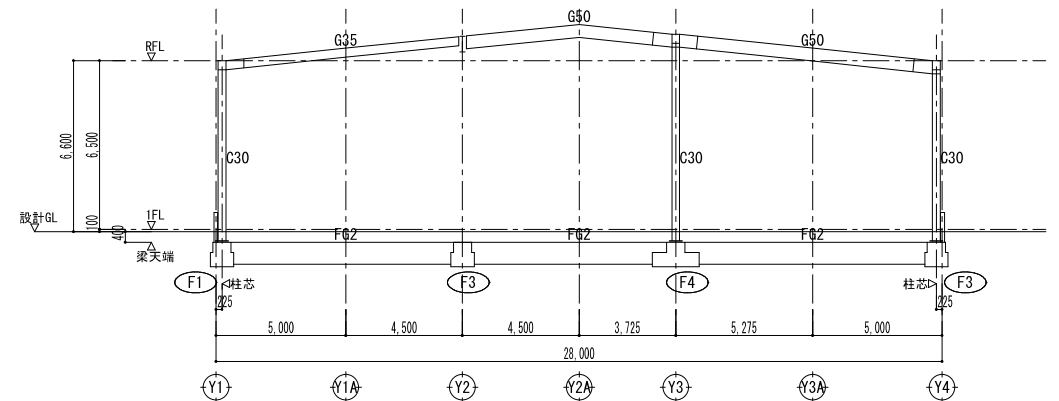
訂正

変更

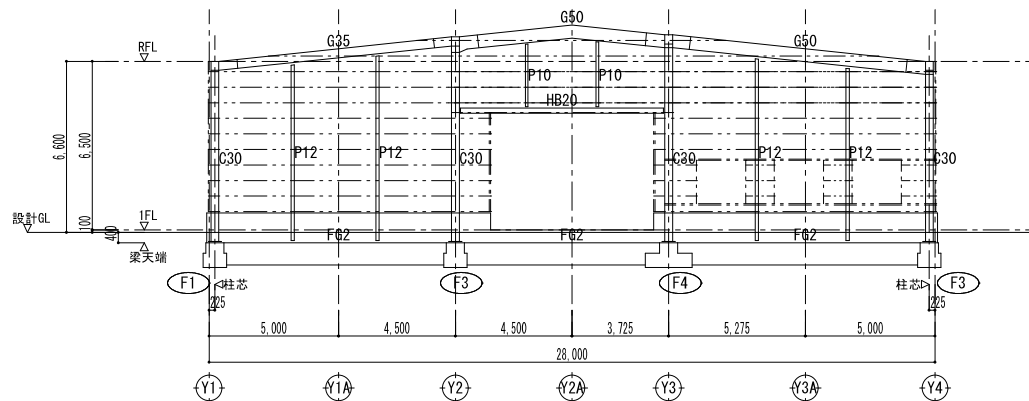


X1通り軸組図 S=1:200

- (特記事項)
- ・ (<J) は継手位置を示す
 - ・ (---) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
 - ・ (- - -) は、2G-100×50×20×2.3を示す

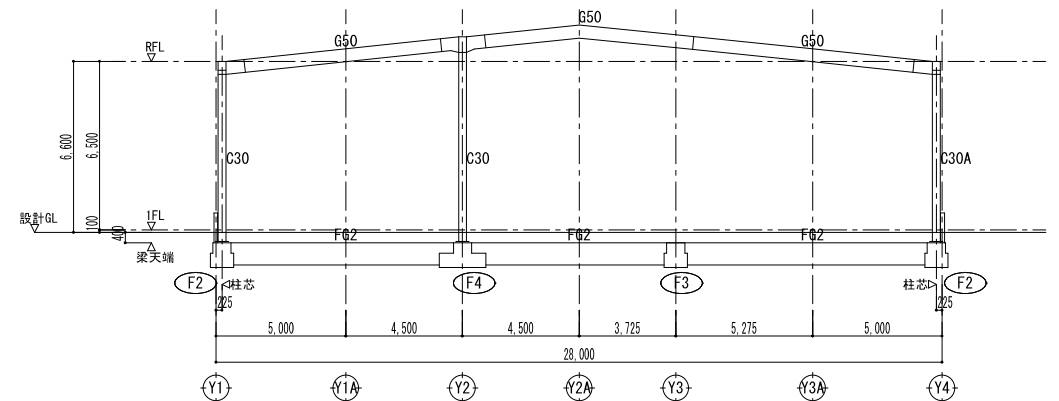


X3通り軸組図 S=1:200



X2通り軸組図 S=1:200

- (特記事項)
- ・ (<J) は継手位置を示す
 - ・ (---) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
 - ・ (- - -) は、2G-100×50×20×2.3を示す



X4通り軸組図 S=1:200

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

訂正	・	・	
	・	・	
変更	・	・	
	・	・	



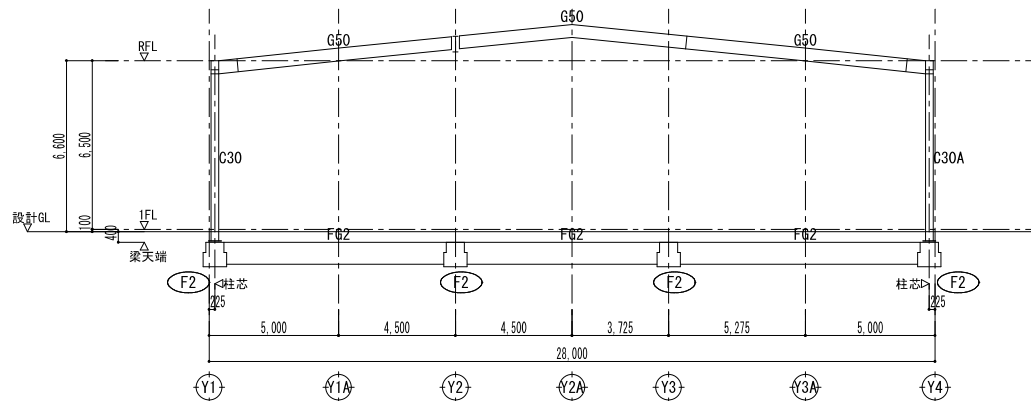
Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388

事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

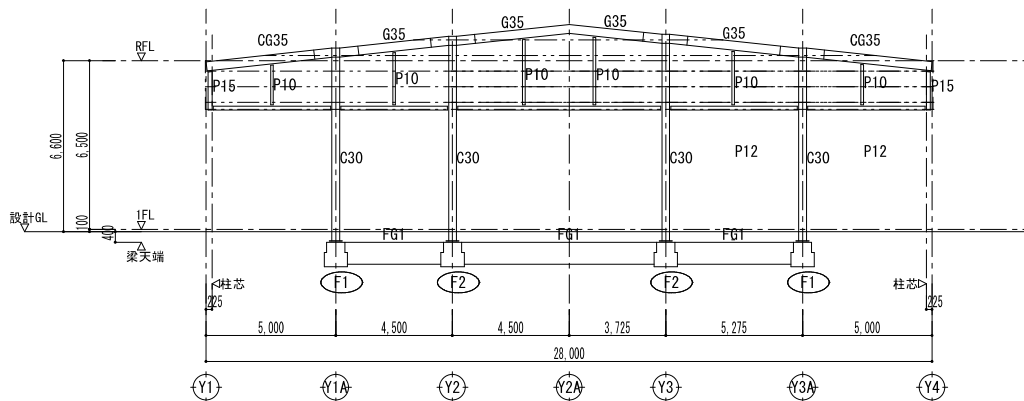
設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 1/200	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-16
担当	承認	図面名称 軸組図(4)	



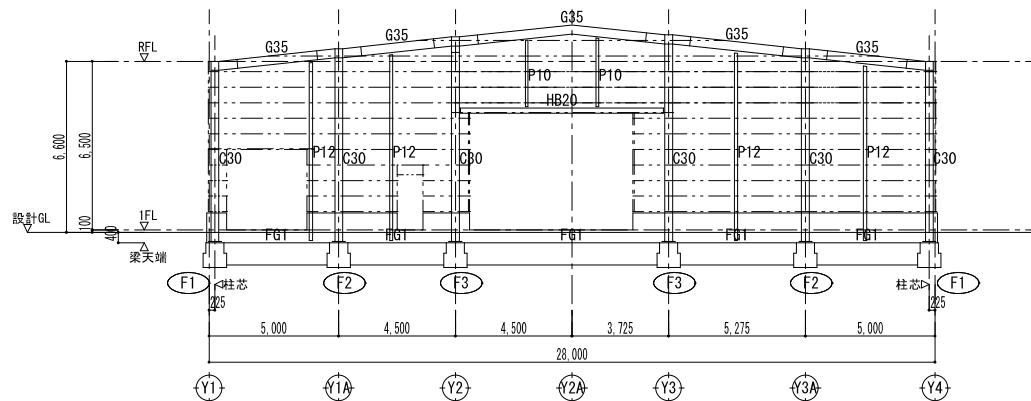
X5通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (---) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (---) は、2G-100×50×20×2.3 を示す



X7通り軸組図 S=1:200



X6通り軸組図 S=1:200

(特記事項)

- ・ (<J) は継手位置を示す
- ・ (---) は、横胴縁 C-100×50×20×2.3@600を示す
- ・ (---) は、2G-100×50×20×2.3 を示す

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

訂正	・	・
	・	・
変更	・	・
	・	・



Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録 : 鹿児島県知事 (第1-7-125) 管理建築士 : 一級建築士登録(第231904号) 射手園 武也

設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 1/200	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-17
担当	承認	図面名称 軸組図(5)	

鉄骨部材リスト

・ボルトピッチ（P）、へりあき（e）（標準）（単位：mm）

軸径d	M12	M16	M20
p	50	60	60
e	30	40	40
ボルト穴径	13.0	17.0	21.5

大梁リスト

（特記事項）
使用鋼材はSS400、H.T.BはS10Tとする。

符 号	部材サイズ	タイプ	継 手							
			フランジ					ウェブ		
			外添板	内添板	ボルト	ゲージg1	ゲージg2	添板	ボルト	ピッチp
G35、G635	H-350×175×7×11×13	A	PL-290x175x9	PL-290x70x9	2本×2列-M20	105		PL-260x170x6	3本×1列-M20	90
G50	H-500×200×10×16×13	A	PL-410x200x12	PL-410x80x12	3本×2列-M20	120		PL-320x170x9	5本×1列-M20	60
G60	H-600×200×11×17×13	A	PL-410x200x12	PL-410x80x12	3本×2列-M20	120		PL-440x290x9	4本×2列-M20	120

小梁リスト

（特記事項）
特記なき鋼種はSS400とする

符 号	部材サイズ	接合タイプ	PL-（1）	PL-（2）	N-径
B20	H-200×100×5.5×8×8	TYPE-1	PL-6		2-M20
B25	H-250×125×6×9×8	TYPE-1	PL-9		3-M16
B30	H-300×150×6.5×9×13	右図による	PL-9		4-M20

その他部材リスト

（特記事項）
特記なき鋼種はSS400とする

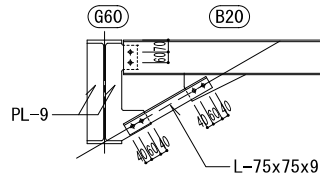
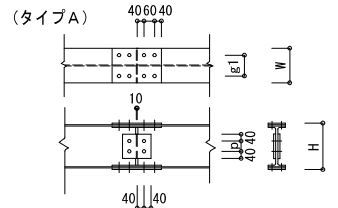
符 号	使用部材	備考
HV12	1-M12（ターンバックル付）	G、PL-6 H.T.B 1-M12
HV16	1-M16（ターンバックル付）	G、PL-9 H.T.B 1-M16
胴縁	C-100×50×20×2.3@600	(SSC400) ピースPL-4.5 中ボルト 2-M12
P10	□-100×100×6	(STKR400) G、PL-9 H.T.B 2-M16
P12	□-125×125×9	(STKR400) G、PL-9 H.T.B 2-M20
P15	□-150×150×6	(STKR400) G、PL-9 H.T.B 2-M20
HB15	H-150×150×7×10	(SS400) G、PL-9 H.T.B 2-M20 横使い
HB20	H-200×200×8×12	(SS400) G、PL-9 H.T.B 2-M20 横使い
T1	L-75×75×9	(SS400) 横補補剛方杖 H.T.B 2-M20

柱リスト

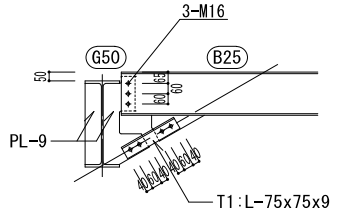
（特記事項）
・ダイヤフラムの鋼種はSN490Cとする。
・ダイヤフラムプレートは取り付く梁のフランジと食違いないように厚くすること。

符 号	部材サイズ	備考
C30	□-300×300×9×22.5	BCR295
C30A	□-300×300×12×30	BCR295

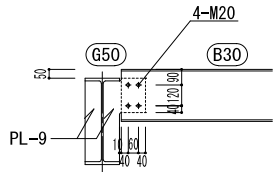
継手形状



<G60-B20 接合部>

方杖角度：30°
方杖：L-75x75x9
接合ボルト：2-M20

<G50-B25 接合部>

方杖角度：30°
方杖：L-75x75x9
接合ボルト：2-M20

<G50-B30 接合部 X1-X2間>

方杖角度：30°
方杖：L-75x75x9

方杖取付詳細図 S=1/30

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

Wood Space

木空間 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL：0993-58-7272 FAX：0993-78-3388
事務所登録：鹿児島県知事（第1-7-125） 管理建築士：一級建築士登録（第231904号） 射手園 武也

設計年月日

令和8年7月7日

縮尺

-

工事名称

(株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事

図面番号

S-18

担当

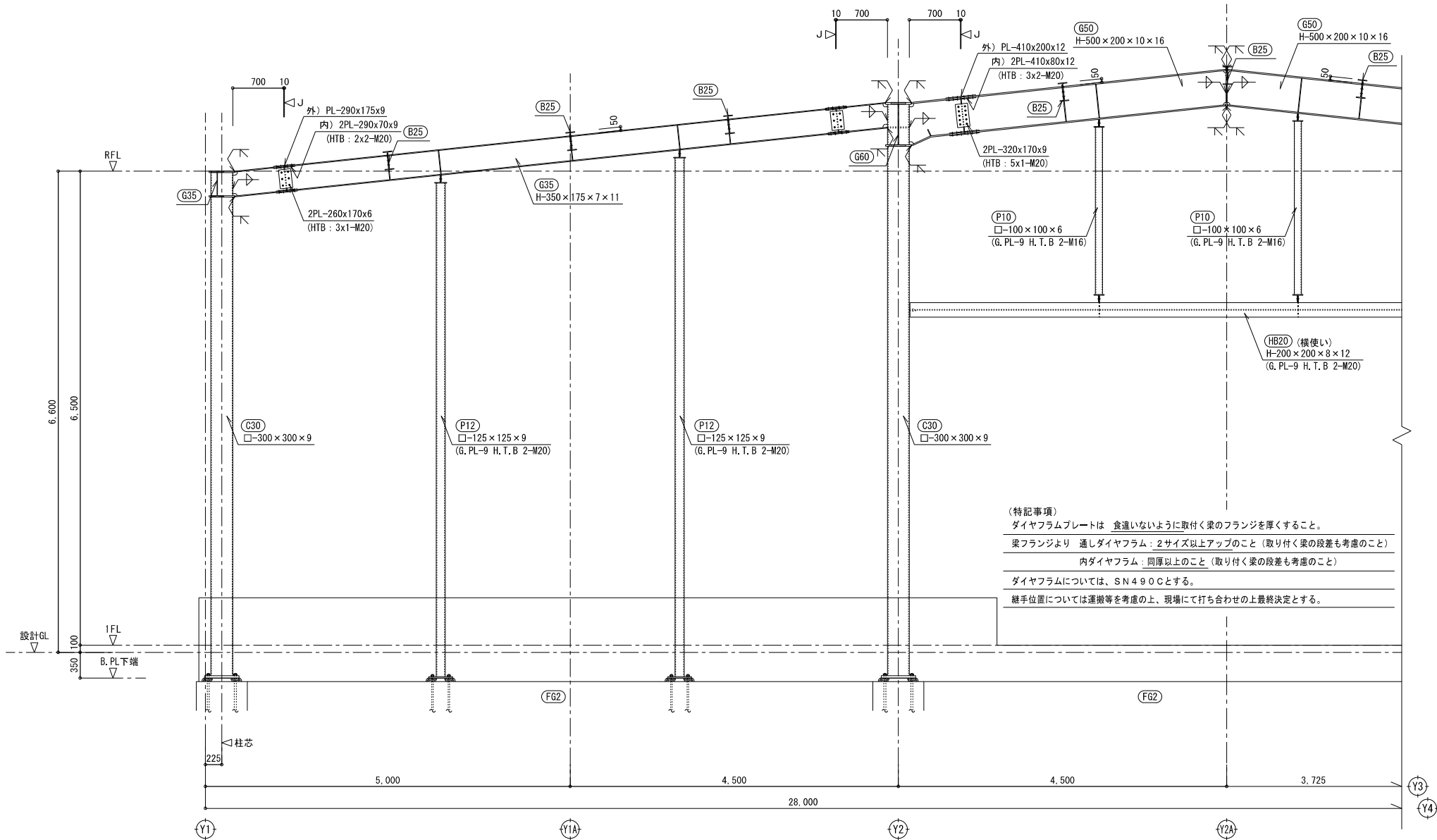
承認

図面名称

部材リスト

訂正

変更



X2通り鉄骨架構詳細図 S=1:50

構造設計一級建築士 第 11226 号
一級建築士 第 361389 号 脇田 光伸

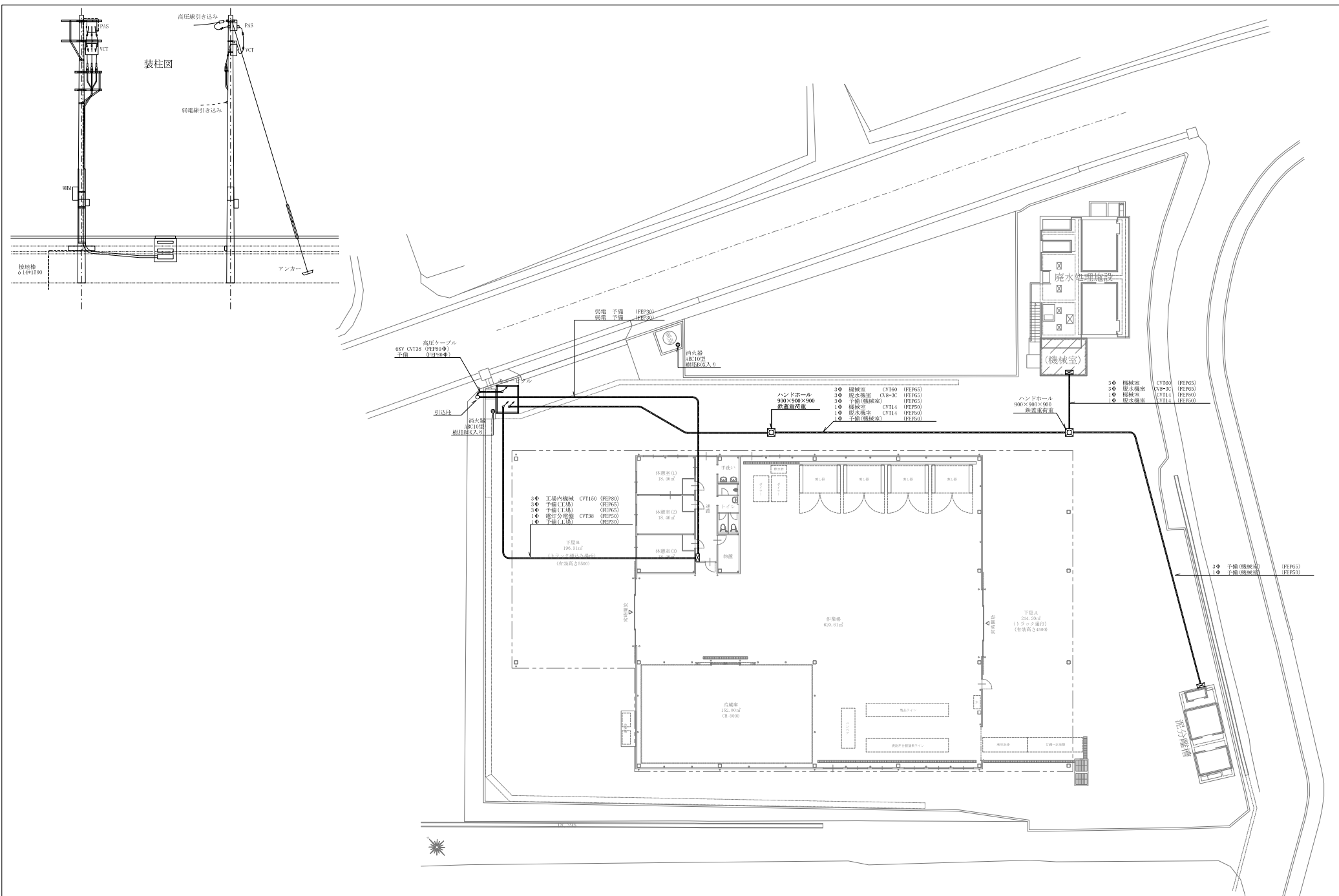
訂正 変更	・	・
	・	・
	・	・
	・	・

Wood S**Space**

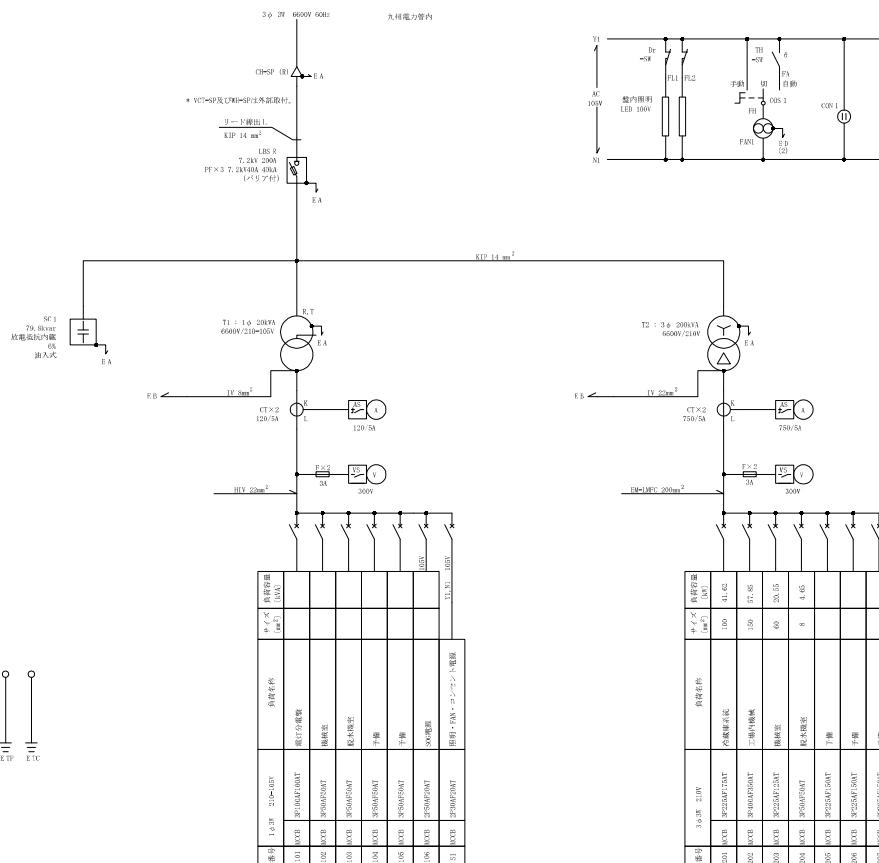
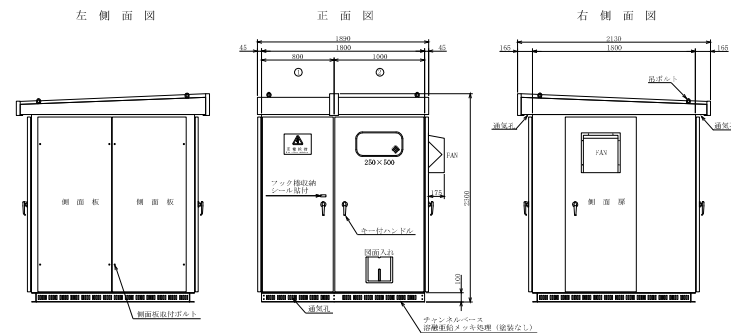
**木空間** 一級建築士事務所

〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町都5181 TEL : 0993-58-7272 FAX : 0993-78-3388
事務所登録：鹿児島県知事（第1-7-125） 管理建築士：一級建築士登録（第231904号） 射手園 武也

設計年月日 令和 8 年 7 月 7 日	縮尺 1/50	工事名称 (株)大新 集出荷貯蔵施設 新築工事	図面番号 S-19
担当	承認	図面名称 X2通り鉄骨架構詳細図	

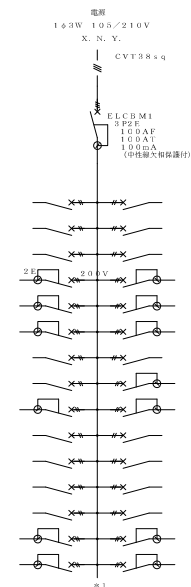


キュービクル参考図



電灯盤

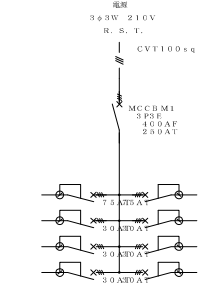
備考	負荷名称	負荷容量	備考
	休園所・トイレ・炊具 照明		1.0 1
	作業場 コンセント 照明		1.0 3
	下皿巾 照明		1.0 5
	裏丸間 コンセント		1.0 7
	ボイラー コンセント		1.0 9
	トイレ側面 コンセント		1.1 1
	休養室 コンセント		1.1 3
	通廊・物置 コンセント		1.1 5
	作業室 コンセント		1.1 7
	休養室1 エアコン コンセント		1.1 9
	休養室2 エアコン コンセント		1.2 1
	予備		1.2 3
	予備		1.2 5
	予備		1.2 7
	予備		1.2 9



番号	自費程度	自費内容	備考
1.0.2		作業費 高天岸 探明	
1.0.4		下流A 掘削	
1.0.6		子掘	
1.0.8		軟水塔 コンセント	
1.1.0		ボイラー コンセント	
1.1.2		トイロ・半蔵1 コンセント	
1.1.4		休憩室 コンセント	
1.1.6		下流A コンセント	
1.1.8		下流B コンセント	
1.2.0		休憩室2 マアロン コンセント	
1.2.2		子掘	
1.2.4		子掘	
1.2.6		子掘	
1.2.8		子掘	
1.3.0		子掘	

動力盤 1

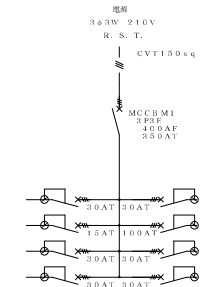
備考	負荷名称	負荷容量	番号
	冷蔵庫 1	15.31kW	1
	予備	5.5kW	3
			5
			7



序号	负荷容量	负荷名称	備考
2	15.31kW	冷蔵庫2	
4	5.5kW	予備	
6			
8			

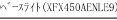
動力盤 2

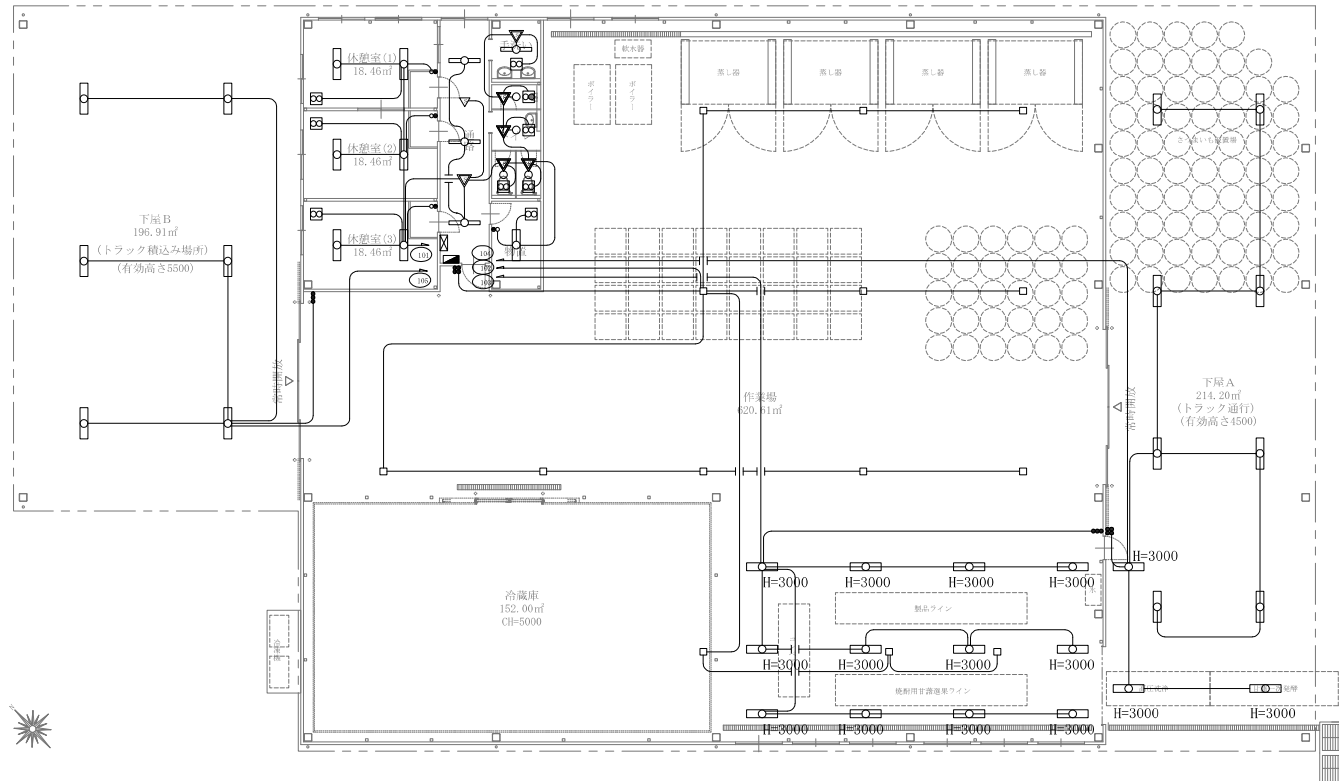
備考	負荷名称	負荷容量	番号
	ボイラー	5.5 kW	1
	フォークリフト用コンセント	2.75 kW	3
	熱気炉	4.4 kW	5
	予備	5.5 kW	7

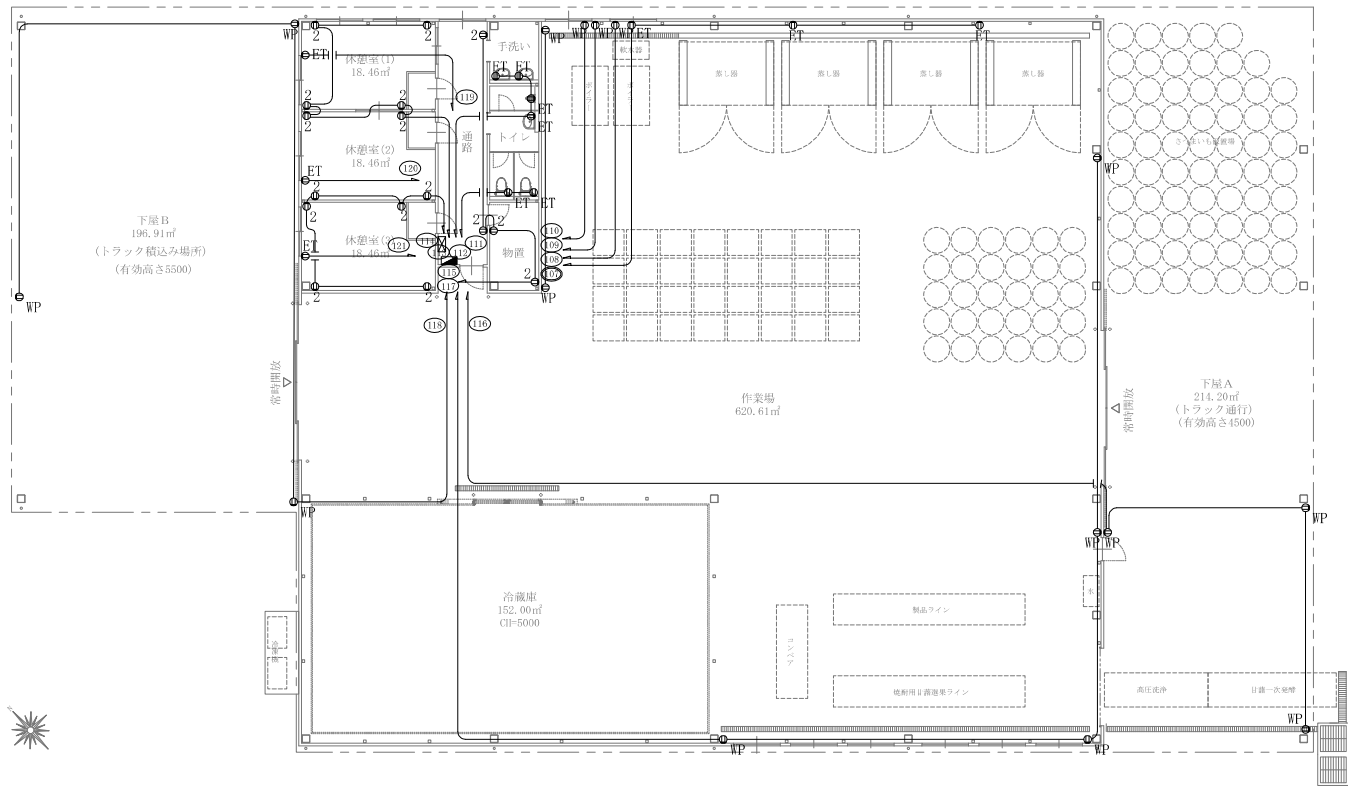


番号	負荷容量	負荷名称	備考
2	5.5kW	ボイラー	
4	23.2kW	ポンプ・洗浄機・コンベア	
6	5.5kW	予備	
8	5.5kW	予備	

照明器具参考図

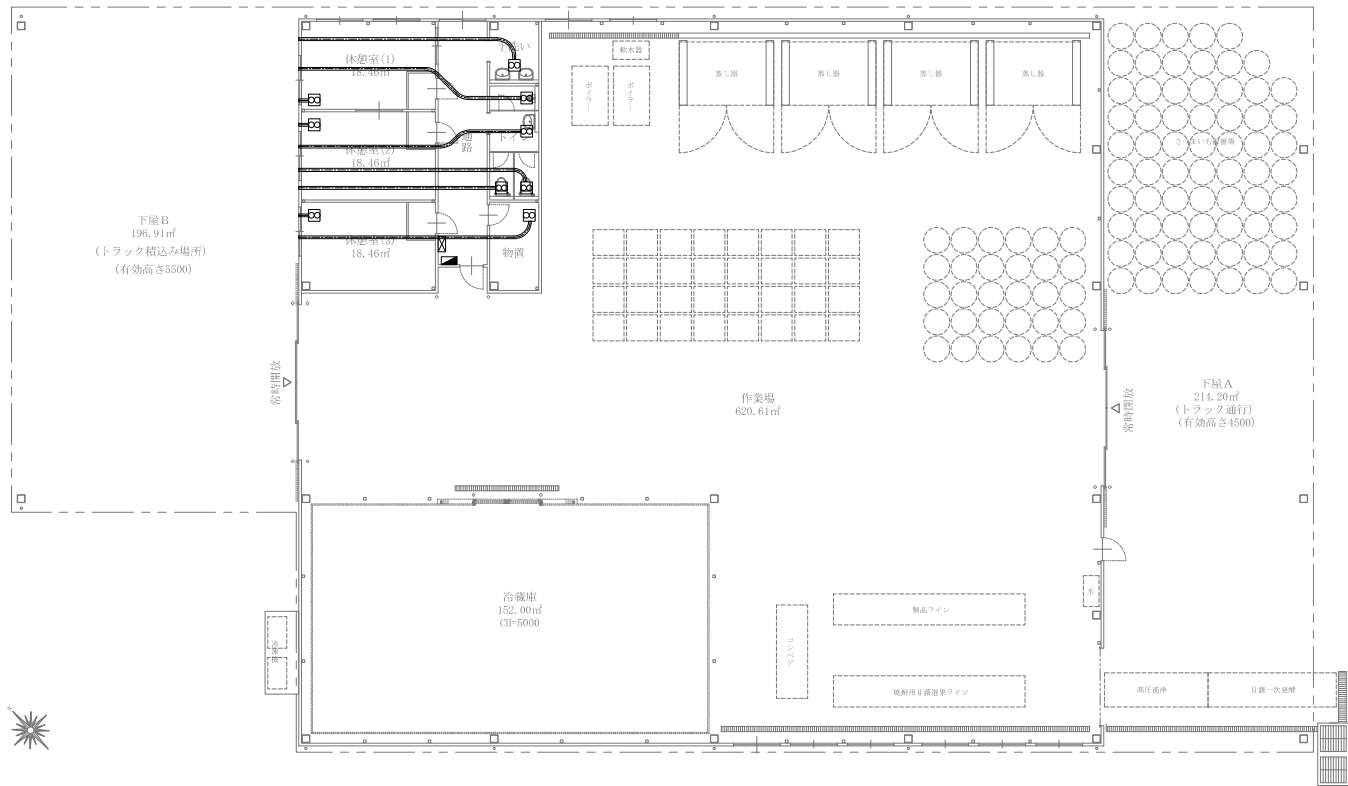
A 高天井用照明器具 光束20, 800LM  光束20800lm、消費電力109、8W、電圧100～242V 器具高さ：2、2m 約5～100%連続調光、落下防止リレー付 本体：アルミ、ハスリ、ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛メッキ 光束照射距離4.0（0.0時間）（光束照射距離2.5m）、電球色/電圧 昼白色、5000K、R×70、駆動タイプ、直付型	B1 LEDベースタイプ(XFX420AENJ9) 光束2, 500LM B2 LEDベースタイプ(XFX450AENJ9) 光束5, 200LM  電圧100～242V 本体：鋼板（白色塗装） 710mm（H×）×519mm（L）（直付） 光寿命約4, 000時間	C LEDベースタイプ(XFX450KENJ9) 光束5, 200LM  電圧100～242V 本体：鋼板（白色塗装） 710mm（H×）×519mm（L）（直付） 光寿命約4, 000時間	D LEDフックタイプ(XND06099WK) 光束615LM  1段内蔵可変スイッチ、電圧5分内点 電圧：100～242V 約75%（L）（直付） ≈6775（直付） 光寿命約4, 000時間 埋込寸法：150mm
---	--	---	---





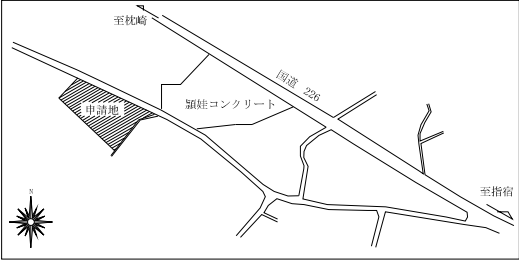
電灯分部署						
		メイン	100A	FLR	CVT38	FPF50
休演所・トイレ・物置 照明	100V	101	MCB	MCB	102	作業場 高天井 照明
作業場 コンベア 照明	100V	103	MCB	MCB	104	下床A 照明
下床B 照明	100V	105	MCB	MCB	106	100V 予備
換気扇 コンセント	200V	107	FLR	FLR	108	100V 排水器 コンセント
ボイラー コンセント	100V	109	FLR	FLR	110	100V ボイラー コンセント
トイレ便座 コンセント	100V	111	FLR	FLR	112	100V トイレ・手洗ひ コンセント
休演室 コンセント	100V	113	MCB	MCB	114	100V 休演室 コンセント
通路・物置 コンセント	100V	115	MCB	FLR	116	100V 下床A コンセント
作業場 コンセント	100V	117	FLR	FLR	118	100V 下床B コンセント
休演室① エアコン コンセント	100V	119	MCB	MCB	120	休演室② エアコン
休演室③ エアコン コンセント	100V	121	MCB	MCB	122	100V 予備
予備	100V	123	MCB	MCB	124	100V 予備
予備	100V	125	MCB	MCB	126	100V 予備
予備	100V	127	FLR	FLR	128	100V 予備
予備	100V	129	FLR	FLR	130	100V 予備





11. 空氣調節工事、換氣工事、排煙工事			
設計条件		4. 架	室内

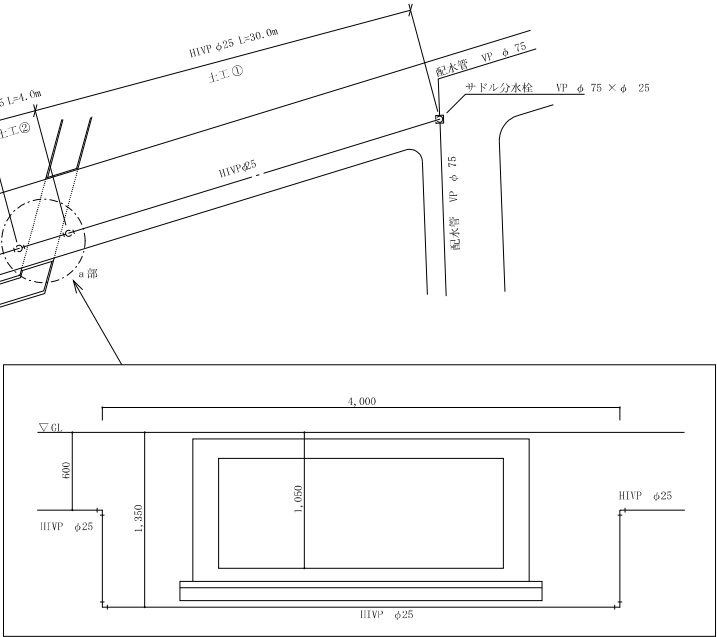
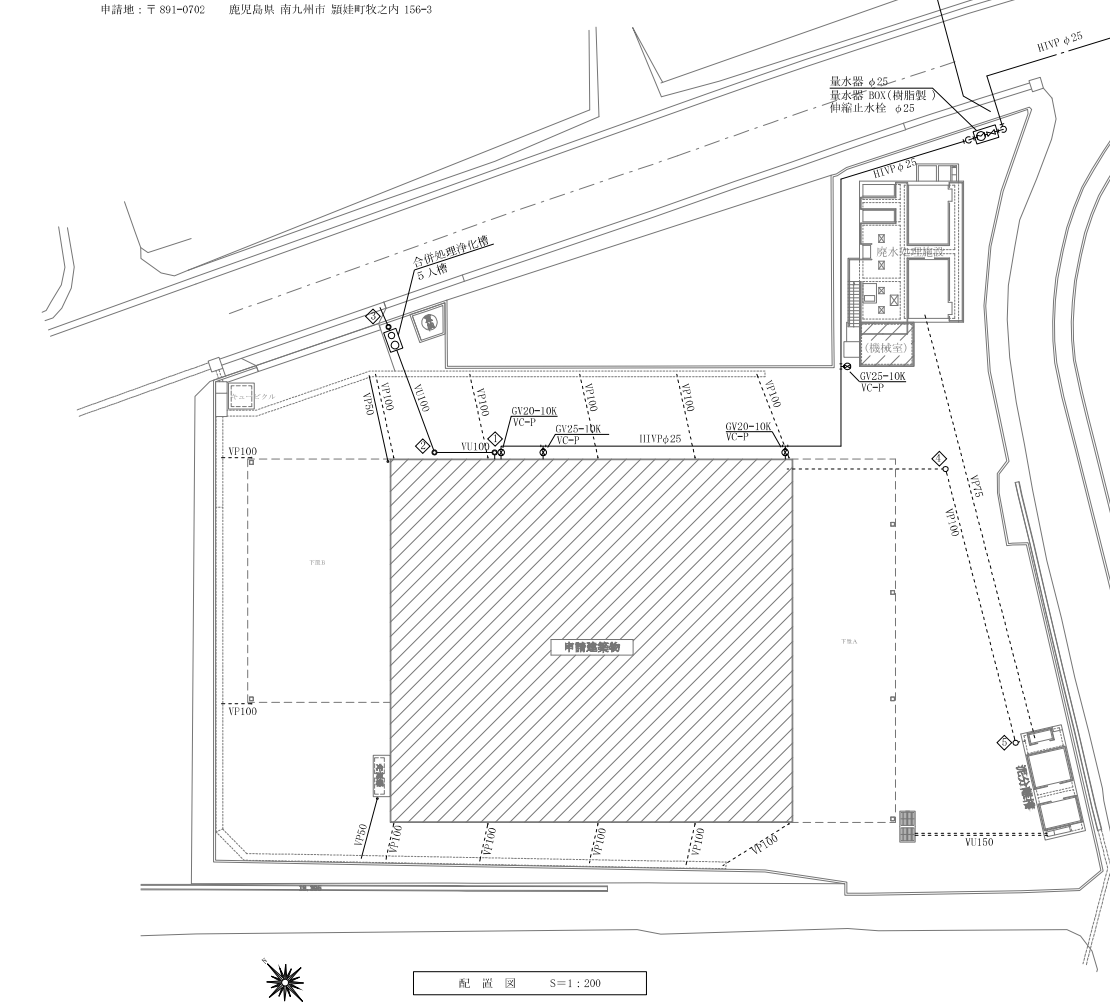
[illegible]



申請地：〒 891-0702 鹿児島県 南九州市 額埴町牧之内 156-3

凡 例

記 号	名 称	使 用 材 料
—	給水管	屋外埋設・屋内 耐衝撃性塩ビ管 (HVP)
		屋内土間下埋設 内外面被覆鋼管 (VD)
—	排水管	屋外埋設 塩ビ管 (VU)
		屋内 硬質塩ビ管 (VP)



a 部詳細図 s=1/20

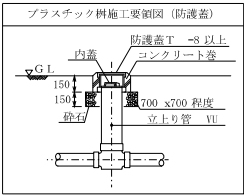
*場内給水管掘削については土工 ③を基準とする

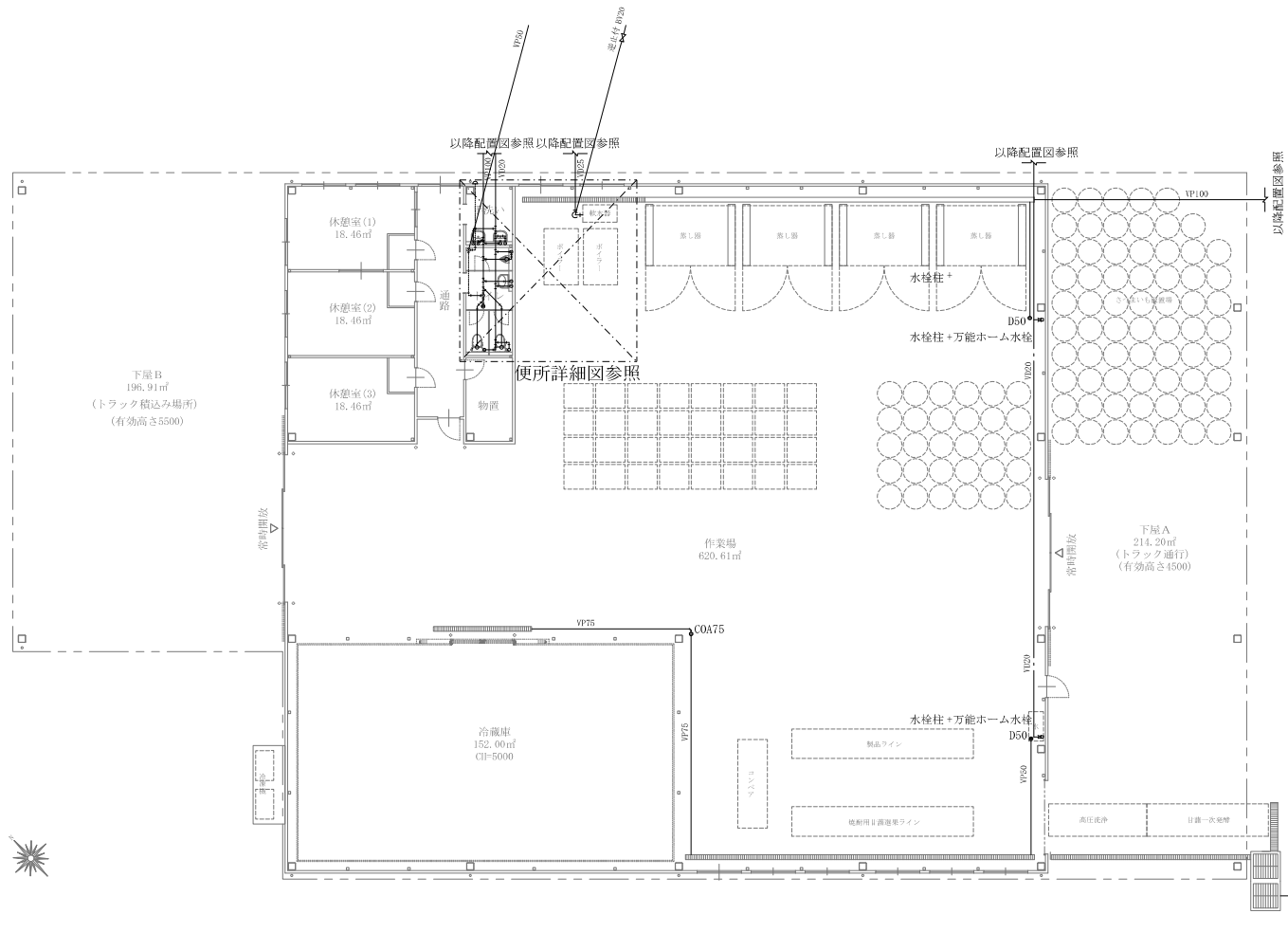
枘リスト (浄化槽)

No	名 称	仕 様	管底 (参考)	蓋仕様
◇	小口径塩ビ枘	90L-100-150	GL-100	防護蓋 (T-8)
◇	小口径塩ビ枘	90L-100-150	GL-150	防護蓋 (T-8)
◇	小口径塩ビ枘	45L-100-150	GL-550	樹脂蓋

枘リスト (場内排水)

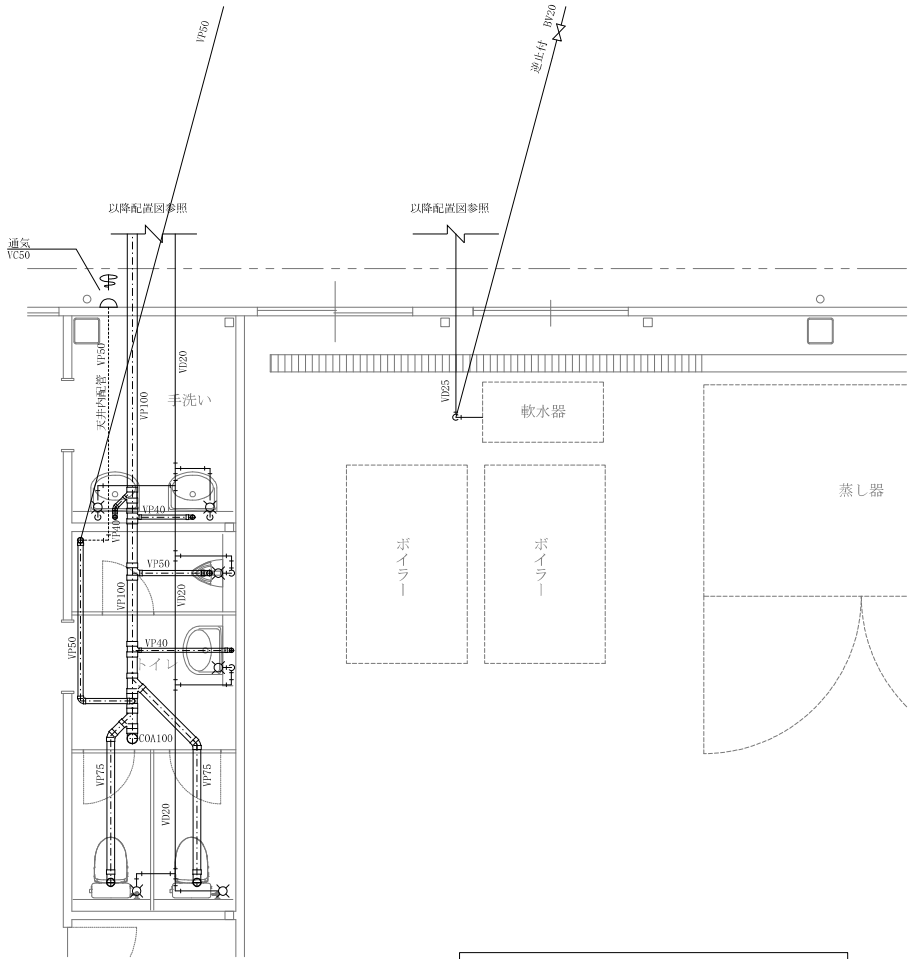
No	名 称	仕 様	管底 (参考)	蓋仕様
◇	小口径塩ビ枘	90L-100-150	GL-300	防護蓋 (T-8)
◇	小口径塩ビ枘	90L-100-150	GL-400	防護蓋 (T-8)



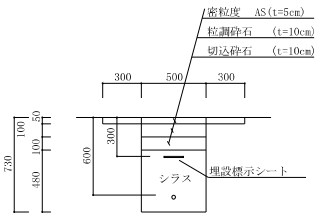


衛生器具表

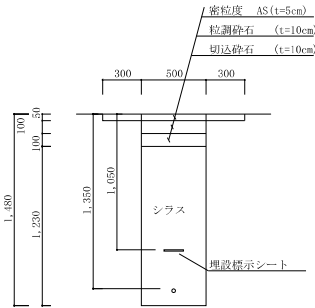
品 名	品 番	付属品・その他	計
	TOTO		
洋風大便器	CS597BCS+SH596BAR	手洗無し、掃除口付床置床排水大便器、蜜結タンク	2
洗浄便座	TCF6544AK	ウォシュレット SS2A	2
小便器	UFH507CR+TEA62ADS	床置床排水小便器、小便器自動フラッシュバルブ	1
手洗器	L250CM+TLE28SS1A	壁掛洗面器、台付自動水栓、壁排水金具、バックハンガー、排水配管用アダプター	3
化粧鏡	YM3545A	350 × 450	3
ホーム水栓	T200SNR13	水栓	1
水栓柱		900H	1



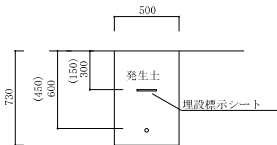
平 面 図 S=1：30



土工 ①



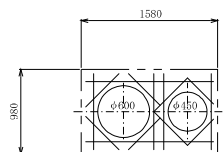
土工 ②



土工 ③

※ ①内の数字は車路以外を掘削する場合とする

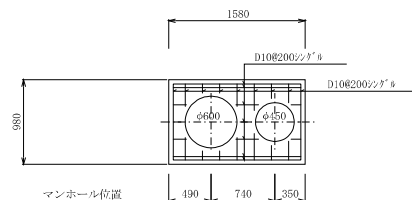
掘削断面図 S=1：20



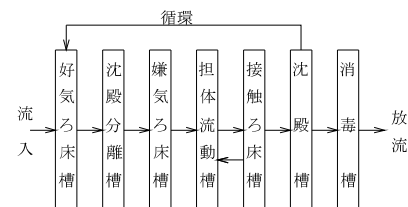
開口補強筋要領図

$$S = 1/50$$

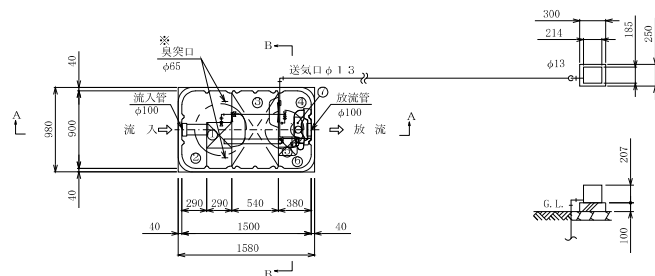
※斜め補強筋どおしは交差させない。



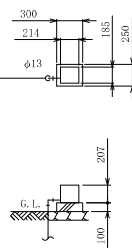
床スラブ配筋図

$$S = 1/50$$


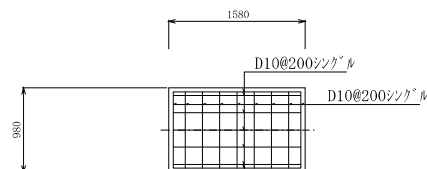
フローシート



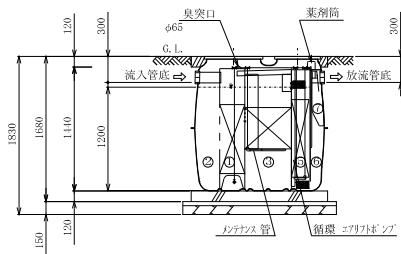
平面图

$$S = 1/50$$


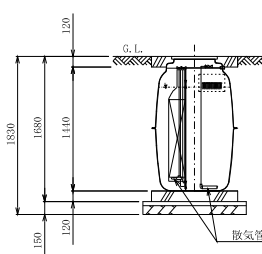
送風機 平面断面図



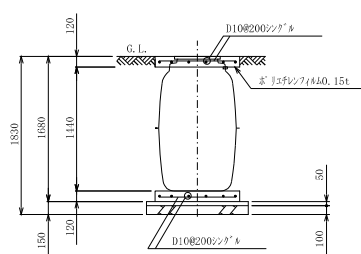
基礎スラブ配筋図

 $S = 1/50$ 

A-A断面图

$$S = 1/50$$


B-B断面图

$$S = 1/50$$


B-B断面配筋图

$$S = 1/50$$

種 類 / 型 式	合併処理 / KZ II - 5
処 理 方 法	担体流動接触床系断層方式
処理対象人員	5 人
一人当り汚水量	0. 2 m ³ / 人・日
計画汚水量	1. 0 m ³ / 日
流入水BOD濃度	200 mg / L
放流水BOD濃度	20 mg / L
BOD除去率	90 % 以上
流入水T-N濃度	4. 5 mg / L
放流水T-N濃度	2. 0 mg / L
T-N除去率	56 % 以上
流入水SS濃度	160 mg / L
放流水SS濃度	15 mg / L
SS除去率	91 % 以上
有 効 容 量 m ³	
① 好氧ろ床槽	0. 1 0 5
② 沈降分離槽	0. 4 3 2
③ 嫌気ろ床槽	0. 5 2 8
④ 担体流動槽	0. 2 0 5
⑤ 接触ろ床槽	0. 0 4 0
⑥ 沈 降 槽	0. 0 8 3
⑦ 消 毒 槽	0. 0 1 5
総 容 量	1. 4 0 8
電 気 機 器 仕 様	
送 風 機	6 0 L / 分 (0. 0 1 5 Mpa)
	1 0 0 V、3. 5 W、1 台

特記事項	
使用材料	上部スラブコンクリート F C = 1 8 N / m m ² 以上
	基礎コンクリート F C = 1 8 N / m m ² 以上
	捨てコンクリート F C = 1 5 N / m m ² 以上
	鉄筋 S D 2 9 5 A (規格品) 特記なき事項は J A S S 5 による。
配筋事項	開口補強筋 4 - D 1 0 (シングル) 縦で平、定着長さ 全て 4 0 d とする
地耐力	必要地耐力 4 0 k N / m ² (想定)
その他	・ 積雪 1 m 以下の場所に設置して下さい。
	・ 浄化槽の重量に耐える地盤に設置して下さい。
	・ 地下水位に応じて浮上防止をして下さい。
	・ カサ上げが 3 0 0 m m を超えないようにして下さい。
	・ 本図はカサ上げ無しの施工図です。
※臭気対策 (排気管) について	・ 製品全高は、± 1 0 m m の公差があります。
	・ 流入流出管底は、製品全高に對して ± 1 0 m m の公差があります。
	・ 浄化槽全高は、本体板厚含み高さで表記。
	・ 無腐重仕様
	・ 設置場所が風通しが悪く臭気があるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭気突開 (または通気管) 工事をして下さい。 ・ 詳細は、施工要領書を参照下さい。